

# 日本福祉大学同窓会会報

2024.3.15

No.  
132



日本福祉大学(中部社会事業短期大学)の開学から10年足らずの頃のフォトアルバムを、同窓生の方から提供いただきました。その一枚一枚を見ているうちに、その時代に学んだ先輩方のお話を皆さまにお届けしたい……そんな思いに至り、132号の対談企画が生まれました。

- 巻頭スペシャル・同窓生対談企画 …………… 1
- 研究紹介『福祉人材に関する地理学的研究』～経済学部 加茂浩靖教授～ …………… 5
- 誌上オープンキャンパス『東海キャンパス編』 …………… 7
- 第35回「社会福祉セミナーin東京」開催報告 …………… 9
- 大学トピックス …………… 11
- 世界の舞台をめざして競技に打ち込む在学生アスリート …………… 13
- 日本福祉大学社会福祉学会(学内学会)活動案内 …………… 16
- 同窓生リレーずいそう …………… 17
- 能登半島地震被災者支援・同窓会からの公示 …………… 20
- 同窓会活動の開催報告 …………… 21
- 同窓会設立70周年記念事業のご案内 …………… 33
- 2025年度同窓会推薦入学試験のご案内 …………… 36
- 各種お知らせのご案内 …………… 41





誰かが動けば仲間が応える、

これからも楽しみな同期会！

昭和37年度卒業生同期会の歩み

- 1 1993年(平成5年10月10日)  
不二パークホテル S68
- 2 2000年(平成12年11月11日)  
三重県湯の山温泉やまびこ S75
- 3 2002年(平成14年7月27日)  
徳島県徳島プリンスホテル S77
- 4 2003年(平成15年10月18日)  
名古屋市ホテルサンルート S78
- 5 2005年(平成17年11月12日)  
愛知県野間やまに旅館 S80
- 6 2007年(平成19年10月6日)  
宮城県松島町センチュリーホテル S82
- 7 2009年(平成21年10月20日)  
長崎県ハウステンボス全日空 S84
- 8 2011年(平成23年4月14日)  
奈良県奈良市 S86
- 9 2012年(平成24年10月24日)  
石川県金沢白鳥路ホテル S87
- 10 2013年(平成25年10月9日)  
愛知県名鉄犬山ホテル S88
- 11 2014年(平成26年10月29日)  
神奈川県 箱根 S89
- 12 2015年(平成27年11月21日)  
愛知県南知多 花丸ホテル S90
- 13 2017年(平成29年10月4日)  
宮崎県小林市「すきむらんど」 S92
- 14 2019年(令和元年10月9日)  
三重県 神宮会館 S94
- 15 2023年(令和5年10月10日)  
名古屋市KKRホテル名古屋 S98

30年間で15回を重ねてきた同期会の集い  
※S数字は昭和での換算

日本福祉大学同窓会には属性に応じて結成できる「認定同窓会」があります。学部・学科等、同期、職域、ゼミやサークルなどのグループ別などがあり、その規模やあり方は様々。活動も全国各地で精力的に行われています(本会報の「同窓会開催報告」「活動日誌」のページ参照)。

今回「昭和37年度卒業社I部同期会(37同期会)」の方々にお集まりいただき、活動や在学中の思い出など多岐にわたってお話を伺う機会がありましたので、その対談の様子をお届けします。卒業から60年の月日を経て、今なお楽しく集う37同期会の皆さん。対談は和やかに、かつ熱い想いにもじませながら行われました。※2023年12月、同窓会本部にて収録(敬称略)

30年間、15回続いた同期会

— この10月に記念すべき15回目となる同期会を名古屋市内で開催されました。  
**■大倉** 卒業後30年目の1993年に第1回目を名古屋市内で開催しました。それから30年間で15回まで数えることができましたね。  
 — 平均して2年に1回ということになります。

**■大倉** 第1回目の頃は、まだ私たちの多くは働き盛りの現役で忙しくもしていましたから、2回目までは少し期間が空きました。メンバーが全国各地にいますので、それに合わせて場所も毎回変えてきました。

**■松浦** 学園創立50周年(2003年)の開催時に、これで終わりにしようかという話もありました。でも続けよう、続けてほしいという意見を先輩たちからもいただき、継続できました。誰かが声を上げることで繋がってきたことが嬉しいです。  
**■福森** 松浦さんと私は、なんだかんだ15回全部参加してきましたね。  
 — 素晴らしい、皆勤賞ですね! いろいろな場所で開催されるのは大変そうで



記念すべき第1回目は卒業から30年後に開催

すが、お写真からは皆さんの楽しそうな様子が伺えます。

■福森 それでも東日本大震災直後、2011年の4月に開催した時は、東北地方に住む方が参加できませんでした。家が傾いてしまったという彼に、私たちでお金を集めて送りました。夏になって彼から私たちに桃が一箱ずつ、送られてきたんです。その桃の一つ一つに「検査済み」と貼られているのを見て、被災地の人たちの苦勞に胸が痛くなりました。

■大倉 被災の規模や影響がとにかく大きかった。

一切なくなるお話しです。皆さんの長い付き合いだからこそ支え合い、心が通い合っているように感じます。

■市川 私はこの同期会が30年間15回続いてきたこと、繋がりやの重みをあらためて見つめ直したいと思います。



学園創立50周年の2003年の開催ではいったん終了の声も

### 伊勢湾台風、経済的にも厳しい環境を乗り越えて

— では卒業後の歴史もさることながら、皆さんが在学中に共有した思い出も伺いましょう。

■大倉 やっぱ私たちは、入学した年の9月に伊勢湾台風を経験したことが大きいね。

■福森 翌日の試験勉強をしていて「何してるの、早く避難しなさい!」と言われました。次の日、学生・教職員の安否確認をして、それから市内の救援活動に参加していきました。大混乱のなかで行政も手が回らず、自分たちで考えて行動を始めたことを思い出します。

■後藤 私は大学で行方不明者リストに自分の名前が載っていたので、生存を申し出た記憶があります。桑名市から通学していましたが、しばらくは船を使ったり大垣市を経由して通学した時期もあり

ました。4年生の時は大学の窓口へ就職の報告に行ったら、卒業式の答辞を務めるように言われてしまいました。

■福森 経済的に苦しかったので、仕送りとアルバイトでギリギリの生活でした。最初に始めた住み込みのアルバイト生活は、勉強するのに環境が良くなくて辞めてしまい、次の家庭教師を見つけるまで仕送りだけでやり繰りして心細かったです。勢和寮に入れて食券でなんとかやっていましたけど。寮の部屋は1人あたり2畳の広さしかなく、2年で退居して部屋を明け渡すことになっていましたね。

■市川 私は3畳の部屋を2人でシェアして、食事もよく友人と分け合っていました。アルバイトはみんなやっていたよね。私は家庭教師をやりました。

■大倉 寮では1日3食100円の食券だったよね。部屋は狭かったけど、お互い助け合ったりして家庭的な雰囲気があったと思います。

— 相談ごとでも率直にできて支え合っていたのですね。今の間関係の距離感に比べると、ずっと濃密に感じます。

■福森 学生生活はたいへんでしたが、家庭教師で教えた子が日本福祉大学に進学しましたとか、岐阜県庁に採用されましたと後から聞かされ、報われた気持ちです。

### 尊敬する先生、頼りになる仲間と築いた大学の思い出

— 当時の大学は「寺子屋時代」と呼ぶこともあったそうですが、だからこそ学びの熱量は大きかったんじゃないでしょうか？

#### MEMBER

### 大倉 裕一さん

出身地 中国黒龍江省長春出身

職歴 大垣市役所

在学中の活動・取り組み

日本福祉大学生協の設立

近況 地区の社協や自治会活動への参加



### 松浦 國之さん

出身地 愛知県

職歴 半田市役所、東海市役所

在学中の活動・取り組み 学生自治会

近況 NPO法人理事(介護保険指定事業所)

※元同窓会本部理事(副会長、会計監査)



当時の枳中キャンパス

■市川 土方先生や浦辺先生が研究室の一角で共同保育を始められ、やがて枳中共同保育所に展開していったんですけど、それに関わらせていただいた経験を思い出すと、やっぱり先生方は現場でものごとを見て考える、捉えることを大切に、私たちに示してくださいましたね。

■福森 伊勢湾台風の救援活動や学生運動などでも、先生方と一緒に行動しながら学んだわね。大切なことを共有しながら、みんな仲良くなっていった。

■大倉 この歳になってくれば健康の問題とかで出席が難しい人もいるけれど、せめて近況を手紙に書いてもらい、みんなで繋がろうとしています。こうやって同期会が続いているのは、学生時代の繋がりが途切れていないからかな。それは伊勢湾台風や学生運動といった時代背景、先生方と理論・実践の両輪で福祉の学びをしたことがとても大きく、そこで繋がった仲間はかけがえのない存在ですね。私たちが在学中や卒業後に取り組んだことの土台になっていると感じるね。

■松浦 私は学生自治会に参加したことがキッカケで、自治会の取り組みとして伊勢湾台風の救援活動記録の冊子づくりに携わりました。これは他大学の自治会の人たちとの共同作業で、それまで他



仲間との思い出

## 昭和38年(1963)卒業写真



1963年春、卒業時の記念写真

大学との交流は少なかったと思うけど、とてもいい経験でしたよ。先輩たちの取り組みから学んだし、他大学の人たちとの意見交換も刺激的だった。

■大倉 僕は学内に生協を立ち上げようと取り組んでいたんだけど、分からないことだらけだったから、名古屋大学生協などにノウハウを教えてもらってね。連携することで助けられたし、たくさん学んだよね。自分たちの力が及ばなければ、素直に教を請うたし、お互い支援の手を差し伸べることにためらいもなかった。

■松浦 自治会の繋がりでは当時、社会事業系の4大学(東北福祉大学、日本社会事業大学、大阪社会事業短期大学、本学)の交流会もありました。それぞれの大学にカラーがあって、その違いを通してものごとを見るのがいい経験でした。伊勢湾台風の救援活動にも共同で取り組み、実践でも連携と交流が深まりました。そうした他大学との交流や合同で行ったセミナーが刺激となって、私たちも学内で自発的な学習を活性化させるようになったと思いますよ。

卒業後は同窓会の役員も引き受けるようになり、大学との繋がり、同窓生の交流にも関わってこられました。

■市川 社会事業系4大学の交流に参加していると大学の違い、特に福祉の学びの捉え方の違いにも直面し、議論もたくさんしました。その過程で本学での学びに自信を深めたし、他大学に先駆けて大学名に「福祉」を掲げた本学が、社会に対して理念をしっかりと示したことを誇りに思っています。

■後藤 私は桑名市役所の社会福祉事務所に就職し、生活保護のケースワーカーなどに携わり、40年近く務めました。学生時代で思い出深いのは、

嶋田豊先生や高島進先生に学んだことです。謝恩会の後に、友人の下宿に先生方も来てくれて、遅くまで人生について語り合いましたよ。

私は母子家庭に育ちました。父は太平洋戦争でビルマ戦線に派兵され31歳で命を落とし、78年経った今でも遺

骨は戻ってきていません。それもあって戦争によって親を失った孤児の支援に関心を持ってきましたし、今は遺族支援や平和に関する活動もしています。毎年12月8日に平和について考えるピラ配りをしていますが、今はウクライナやパレスチナの問題があるからか、高校生たちも耳を傾けてくれます。若い人たちに伝えることの大切さを痛感しています。

■市川 私は実家がお寺で、父が保護司もしていました。戦争孤児でいろいろ問題を起こした男の子を引き取っていました。私はとても怖がっていたのだけれど、父からは目の前のことだけで善悪を判断せず、その背景を知り、懸命に生きている姿をよく見るよう諭されました。

■大倉 あの時代の学生は、誰もが戦争の影響、影を引きずっていたよね。僕は4歳のときに満州で終戦を迎え、2ヶ月ほどかけて釜山まで逃げのびましたが、そのときのことは筆舌に尽くしがたいものです。

■福森 入学したとき、浦辺先生からは「あなたたちは福祉の担い手を目指しつつ、自分たちもそれぞれ問題を抱えたクライアントでもあるんだよ」と言われましたね。私は貧困や女性の自立などを意識していたし、学生はそれぞれ問題意識をしっかりと持っていたと思います。

■松浦 さっきも話したけど、自治会に参加すると先輩たちがものすごく熱く議論していて、伊勢湾台風の救援活動の記録を取りまとめようと冊子を作っていました。自治会に力もあったし、経験から多くのことを学びました。

■市川 入学した頃に先生方から面接を受けましたよね。私は三浦先生の面接で、これまで何を学び、これから何を学びたいかなど、たくさんの質問をされました。先生たちも一生懸命教育に取り組

むけど学生も学ぶ目的を明らかにして一緒に教育を作っていこう、といった気概を感じました。

### お互い信頼できる仲間、 誰もが同期会を続けてきた原動力

— 卒業されてから60年が経っているのですが、その思い出も価値もまったく色褪せていませんね。

■福森 ずっと後になって大学は枳中から移転したけれど、そこで学び成長した私たちとしては何らかのカタチで母校の足跡を残したいと話し合うようになったのね。

■大倉 今は滝川西公園というマンションに囲まれた公園の中心に「福祉の礎」のプレートを付けた時計台に結実しました。

■松浦 同窓会でも同じ想いで、そのモニュメント設置に向けてみんなで動いたように思います。完成した時は嬉しかったね。

■市川 私は伊勢湾台風の片付け作業の時に角材が頭に当たって意識を失い、すぐ近くの聖霊病院に脳外科があったおかげで助かりましたが、長期入院の後に自宅療養へ移ったので、卒業が1年遅れましたし、皆さんが苦勞した伊勢湾台風の救援活動にも参加できませんでした。でも翌年、同級生と一緒に授業を受けさせてもらえたり、三週間くらいでしたが3歳の姪を預かることになった時も大学に連れてくることを認めてもらえました。たいへんな経験をしながらも卒業でき、今も皆さんと繋がってられるのは幸せな人生だと思います。

■大倉 卒業後60年ですか、あらためてすごい年月だね。今、大学や同窓会に対して思うことは、一言で言えば平和と人権を守る教育、思想をしっかりと受け継いでほしいと。それに尽きます。

— 30年間、15回にもわたって同期会が続き、今でも皆さんにお集まりいただけることは同窓会にとっても宝物だと思いますよ。



福祉の礎

■**後藤** 嬉しいですね。こういう活動が盛んになるといいですね。

■**市川** 私は夫が福島に赴任していた時期があったので、あちらの地域同窓会にも参加しました。地域ならではの情報交換や交流が深まる活動はとっても良かったですね。福祉系の大学が全国に増えたから、日本福祉大学の地域同窓会活動はさらに大切にしていける必要があります。

■**松浦** 最初のところでも話しましたが、途中でいったん集まりに区切りを付けようとしたこともあったけど、継続を呼び掛ける声がみんなの心に届いたんですね。やっぱり日本福祉大学で繋がった縁や思い出を失いたくない気持ち、学びから得た力があるから、場所も変えながら続けてきたんだと思う。まだ「次は北海道で」という元気さもありますよ。

■**福森** 今でも私の体調が悪いときに、サッと駆け付けて身の回りのことを手伝ってくれる同期生がいますよ。

■**大倉** 続けることが難しく感じても、誰かが声を上げるとそれに応える人がいて、また続く。そんな雰囲気と気持ち私たちにはあるんだね。

■**市川** 15回目を名古屋でやると決めて、そのプラン作りを引き受け「福祉の礎」を訪ねるコースも考えたところでコロナ禍になり、いったん中断してしまいました。それで再開に向けてどうしようかと考え、私はまず松浦さんに相談しようと思ったのね。そうしたら松浦さん、「うん分かった、大倉君に相談しよう」って(笑)。でもその繋がりが私たちの財産ですよ。

— 今の時代には今の難しさや

課題があって、学生の環境や悩みごととも変容していると思います。それでも大学の仲間と喜びを分かち合ったりお互いが支え合うことは、時代が変わってもかけがえのない経験となるでしょう。その価値は変わらず、人生の宝物として守ってほしいですね。2025年度の設立70周年記念大同窓会では、37同期会の皆さんはじめ、多くの認定同窓会に参加していただきたいと思います。



15回目の同期会の様子

#### MEMBER

### 市川 京子さん



出身地 新潟県

職歴 愛知県・福島県で共同保育所、保育園勤務、東海学院大学非常勤講師

近況 町内会の勉強会や健康づくり企画への参加、野菜作りやハンドクラフト

### 福森 瑞子さん



出身地 三重県

職歴 三重県庁

近況 年金者組合津支部長を経て現在はサポート役に

### 後藤 照生さん



出身地 三重県

職歴 桑名市役所

近況 全国生活と健康を守る連合会、平和遺族会での活動

Let's!

## 認定同窓会

同窓会に参加してみる



同窓会正会員の皆さまは居住地に応じた地域同窓会に所属するほか、在学時の属性による「認定同窓会」に参加したり、設立することが可能です。

認定同窓会とは、同窓会理事会が認定した同窓会です。認定同窓会には、学部・学科・専攻等の同窓会、同期生による同期同窓会、ゼミ・研究室やサークルや職域・職種など様々な同窓生によるグループ同窓会があります。これらの認定同窓会は趣旨や規模も様々で、和気あいあいと交流を行ったり、学習会を開催したりと様々な活動を行っています。

来る2025年度には同窓会設立70周年の記念大同窓会(2025年11月2日 東海市)を開催する予定です。この70周年記念大同窓会に併せて、各認定同窓会による様々な企画・集いが開催される予定です。

また、この70周年を期して、新規に認定グループ同窓会を設立したり、改めて旧友たちと同窓会を企画するなどの相談が同窓会事務局に寄せられています。

### 認定同窓会(グループ同窓会)を設立・登録する

新規に認定同窓会(グループ同窓会)を設立・登録するためには次の4つの要件を満たすことが必要です。

- 1 同窓会員で構成
- 2 会の構成員の条件を明示し、当てはまる会員全員に門戸を開く
- 3 構成員が10名以上であること
- 4 代表者が決まっていること

※趣旨が同一とみなされる既存の認定同窓会がある場合は同窓会事務局からご相談させていただく場合があります。

### 認定同窓会に参加・加入する

認定同窓会の活動は様々です。その活動の様子は、同窓会報の同窓会開催報告や同窓会のホームページ、Facebookなどでご紹介しています。興味を持たれた認定同窓会の行事への参加や各認定同窓会の会員加入などは、同窓会事務局にお問い合わせください。

同窓会のホームページ「同窓会に参加してみる」のページをご参照ください。参加へのアドバイスや、既存の同窓会一覧をご案内しています。

# 福祉人材に関する地理学的研究

日本福祉大学 経済学部 教授 加茂 浩靖

## 1. はじめに

大学学部生のときからこれまで地理学の研究を続けてきました。地理学は、地球表面で生じる自然現象や人間活動を対象に、その地域的特色を解き明かそうとする学問です。地理学がめざしていることの1つは、地域的な差異が生じる原因を科学的に説明することです。すなわち、地表面で生じている現象に着目して、それがどのように分布するのか、なぜそのような分布になるのか、その影響は何かなどを明らかにします。

## 2. 福祉人材に関する研究

こうした問題意識のもと、本学に着任した2007年度以降は、主に福祉人材に関する地理学の研究を行っています。福祉人材に対する需要はどこで生じているのか、それに対して人材がどのように供給されているのか、うまく供給されていないとすればそこでどのような問題が生じるのかなどが研究課題です。特に2015～2018年度には、共同研究「『社会保障の地理学』による地域ケアシステム構築のための研究」に参加し、地域包括ケアを担う人材の地理的課題の解明に取り組みました。研究成果の一部は2017年発行の共著『地図でみる日本の健康・医療・福祉』で報告しています。この図書は地域包括ケアの地域的状況の見える化をめざしたもので、日本の健康・医療・福祉に関する事項を、地図を示しながら解説しています(図1)。この図書において指摘されていることの1つは、健康・医療・福祉に関する地域差の問題です。この分野の各事業は、地方自治体や医療圏等の圏域を地域の単位として展開されてきたため、その社会資源やサービスには地域間で差がみられます。一方、これらに対するニーズにも個人差に加えて地域差があることがわかってきています。福祉人材に関しても同様で、地域によっては必要とする人材を雇用することができず、サービスを十分に提供できないという問題が生じています。

## 3. 介護分野における外国人材の受入れ

上述の研究と並行して、2016年度から現在に至るまで行っている研究が、介護分野における外国人材の受入れです。事業所での聞き取りやアンケート調査、出入国在留管理庁や厚生労働省の提供資料の分析等をもとに、受入れの地域的な状況の解明を試みています。

介護サービス業が抱える問題の1つは人材確保の困難さにあります。厚生労働省「職業安定業務統計」によると、2022年2月における介護関連職業の有効求人倍率は、最小の沖縄県でも2.20と1を超えていて、すべての都道府県で労働力不足の状態にあります。特に大都市圏ではこの値が大きく、問題が一層深刻です。介護人材が不足する地域では、県外からの就職者によってその充足を図るケースもあります。文部科学省「学校基本調査」によると、2020年度における高等学校「医療・福祉」就職者の県外就職率は沖縄県で32.8%、ついで鹿児島県で23.2%、岩手県で20.9%と大都市圏から離れた県で大きくなっています。ところが、介護福祉士を養成する学校の生徒は著しく減少しています。2010年度と2023年度で比較すると、高等学校福祉科の生徒は全国で10,008人から6,747人に32.6%減少しました。

介護サービス事業所のなかには、人材不足の解決策として外国人の受入れに期待を寄せるものもあります。

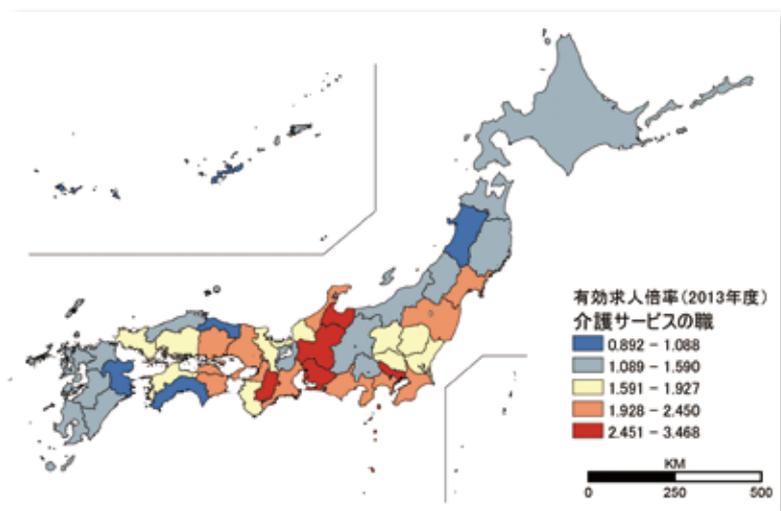


図1 都道府県別にみた有効求人倍率(介護サービスの職)

注) 全国の有効求人倍率:1.92

出典:宮澤 仁編著(2017)「地図でみる日本の健康・医療・福祉」p.175

現在日本で介護職を対象に実現されている外国人受入れの制度的枠組みとしては、経済連携協定(EPA)に基づく介護福祉士候補者の受入れ、外国人技能実習制度、在留資格「介護」、在留資格「特定技能1号」等が存在します。

このうち、まずEPA候補者の受入れを取り上げて2016～2019年度に研究を行いました。その結果明らかになったことは、候補者の受入れに地域的な偏りがあることです。候補者が比較的多く居住している地域としては、東京・名古屋・大阪を中心とする3大都市圏、岡山県と徳島県があげられます。候補者の送出国は2008年度受入れ開始のインドネシア、2009年度開始のフィリピン、2014年度開始のベトナムですが、いずれも3大都市圏に候補者が多く居住しています。人材確保が困難な大都市圏で、候補者受入れがより進んだとみられます。一方、インドネシアとフィリピンの候補者は、3大都市圏以外にも岡山県と徳島県に多く居住しています。受入れに慎重な事業所が多かった2008～2009年度の時期に、受入れに積極的な法人が、岡山県や徳島県の施設で候補者を多数受入れたことが要因と考えられます。

さらに2019年度以降は、技能実習制度、特定技能による外国人の受入れを研究しています。在留外国人に関する統計資料の分析をもとに、介護分野での受入れの地域性の解明を試みています。2019年4月に開始された特定技能の場合、受入れ数は開始当初は少なかったのですが、その後は増加しています。2020年6月と2023年6月で比較すると、特定技能介護外国人が170人から21,915人に増加するとともに、在留する市区町村の数も91から1,293に大きく増加しました。2020年6月時点では在留する91市町村のうち75.8%が大都市圏の市町村でしたが、2021年3月では大都市圏に隣接する地域や新居浜市、香南市、那覇市等の地方都市にも分布が広がっています(図2)。

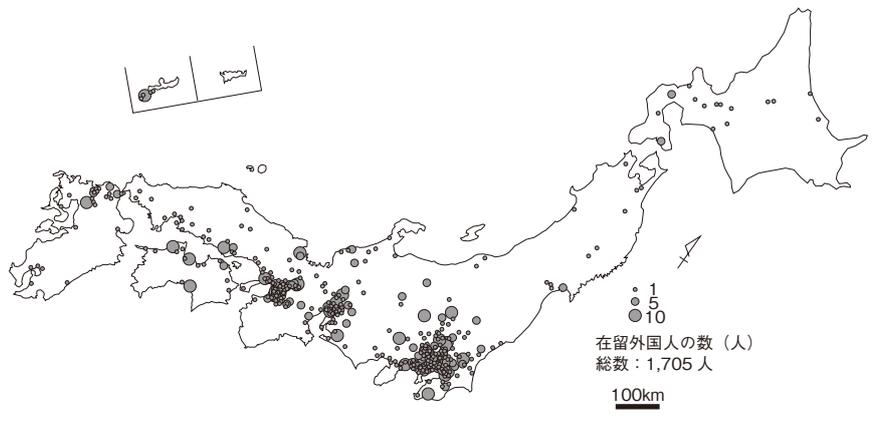


図2 市区町村別に見た特定技能1号(介護分野)在留外国人の分布  
注) 2021年3月における在留資格特定技能1号(介護分野)在留外国人の数を市区町村別に表示。  
出典: 日本地理学会編(2023)『地理学事典』p.307

#### 4. 制度の見直しにともなう研究の修正

技能実習制度及び特定技能制度の在り方に関する有識者会議の最終報告書が、2023年11月に法務大臣に提出されました。そこでは、人手不足が深刻な地方や中小零細企業において人材確保が図られるように配慮することが留意事項として記されています。現在遂行途中の研究も、制度の見直しを踏まえた内容に修正したいと考えています。例えば、地方の中でも受入れ地域に偏りがなにか注意深く探る必要があると思っています。



日本福祉大学 経済学部 教授  
加茂 浩靖 Kamo Hiroyasu

##### ■最終学歴

広島大学大学院文学研究科博士課程後期修了

##### ■主な著書

加茂 浩靖(2015):  
『人材・介護サービスと地域労働市場』古今書院(単著)

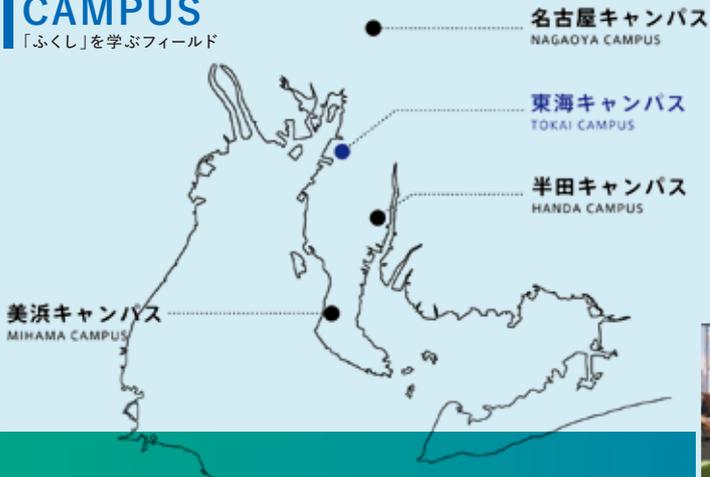
宮澤 仁編著(2017):  
『地図でみる日本の健康・医療・福祉』明石書店(共著)

Miyazawa, H. and Hatakeyama, T. eds. (2021). "Community-Based Integrated Care and the Inclusive Society" Springer (共著)

日本地理学会編(2023):  
『地理学事典』丸善出版(共著)

## CAMPUS

「ふくし」を学ぶフィールド



誌上オープンキャンパス

## 東海キャンパス編

秋中(名古屋市昭和区)で開学した日本福祉大学は、1983年度に美浜キャンパス(愛知県知多郡美浜町)へ総合移転。知多半島全域をフィールドと捉えて1995年度に半田キャンパス、2015年度には東海キャンパスを開設し、3キャンパスの通学課程拠点を築きました。

見たこと・行ったことがないキャンパスがあるという同窓生の方もいらっしゃるでしょう。そこで同窓会報では順次、各キャンパスを紹介していきます。第1回目は東海キャンパス。2027年度に拡張も計画され、今後の展開が楽しみです!

東海キャンパス



東海キャンパス祭



図書館



## 2027年度・キャンパス拡張と社会福祉学部移転

2027年度には現在のキャンパス西側の土地(25,700㎡)が新たに拡張され、社会福祉学部が美浜キャンパスから移転します。これにより、東海キャンパス既存の3学部と連携した複合的な学びを実現する計画で、移転のメリット、可能性を最大限に活かす準備が進められています。

また、東海市はエリア一帯を「東海太田川駅西土地地区画整理事業」に指定し、産業、学術文化・芸術、賑わいと交流の中心地と位置付けています。自動車専用の「西知多道路」に新たに大田インターチェンジを設けるなど、交通網の整備も計画されています。



## キャンパスデータ

開設	2015年度
設置学部	・看護学部 ・経済学部 ・国際福祉開発学部 (2024年度から 国際学部に変更)
設置機関	・附属図書館(東海分館) ・看護実践研究センター ・まちづくり研究センター ・日本語教育センター
2023年度 在籍学生数	1,535名
常勤教員数	63名
土地面積	7,664.58㎡
建物延べ面積	16,886.72㎡
所在地	愛知県東海市大田町 下浜田1071番地
交通アクセス	名古屋鉄道太田川駅から 西へ徒歩5分



## キャンパスツアー

### ■ 教室

中小規模の教室は、座席配置が自由にアレンジ可能で、個別学習からグループワークまで柔軟に対応。効果的なアクティブラーニングをサポートしています。

### ■ 東海キャンパス

東海キャンパスは南北に長いシンプルな6階建て1棟で構築。北ウィング・中央部・南ウィングに分けて運用し、北ウィングは看護学部の特化しています。事務窓口、カフェテリアや保健室など学生サービスは主に1階で対応し、2階から教室や図書館、ラウンジ、個人ロッカーを配置。5～6階に教員研究室を集約しています。また、体育館は南ウィング5階(6階吹き抜け)というユニークな構造です。

### ■ 図書館

落ち着いた学習空間を提供する図書館。東海キャンパスの学部に合わせて蔵書はもちろん、図書館ネットワークから他のキャンパスの蔵書検索や相互貸出も可能なほか、街中に立地していることから東海市との連携も充実しています。

### ■ 東海キャンパス祭

キャンパス開設から行われてきた東海キャンパス祭は、コロナ禍での制約にも耐えて、9回目となる2023年度には「東海にゃんぶくフェスティバル」と名付け開催。今まで以上の盛り上がりに加え、地域とのつながりも一層深めたいという思いが実り、賑わいました。



## 東海キャンパス既設学部との連携がさらに充実!

### Cooperation 1

総合政策専修



経済学部

経済・経営分野を学び、総合的な政策立案に活かす

### Cooperation 2

現代社会専修



経済学部

ふくしの視点で新たな商品やサービスを共同開発

### Cooperation 3

現代社会専修



国際学部

多国籍の学生とともに多文化共生・国際福祉を学ぶ

### Cooperation 4

現代社会専修



看護学部

健康社会づくりに向けた福祉と医療の連携を追究



キャンパス拡張予定地

## 第35回 日本福祉大学社会福祉セミナー in 東京 開催報告

学園創立70周年記念事業として企画された第35回日本福祉大学社会福祉セミナー in 東京。首都圏での開催でもあり、目的の一つに「日本福祉大学の認知度を上げる」を掲げ、それに相応しい対談プログラムで構成されました。今回も会場参加と日本福祉大学公式YouTubeチャンネルライブ配信による開催で、目標とした1,500名の参加申込も達成。開催概要と報告をお届けします。

- ◆開催日時 2023年10月14日(土)13:00～15:00
- ◆会場 東京商工会議所 渋沢ホール(千代田区丸の内)
- ◆対談 しあわせのカタチ  
～子どものしあわせ、大人のしあわせ～  
作家・日本福祉大学客員教授 角野 栄子さん ×  
作家・エッセイスト 阿川 佐和子さん
- ◆参加者及び視聴者数  
申込者数(会場)：505名 当日参加者：398名  
申込者数(Web)：1,170名 当日視聴者数：889名

### 【開催報告】

すべての人のふくしの実現を目指す日本福祉大学。首都圏での開催にあたり、そのことを多くの人に伝えるため「しあわせのカタチ」をメインテーマに開催された今回のセミナーは、「ドレミファダンス」のメンバー25名による、とびきり明るく楽しいダンスで幕を開けました。「障害のある人と健常者の区別なく、誰もが楽しめる音楽とダンスを一緒に(特定非営利活動法人AVA松浦辰吉理事長)」のコンセプト通り、ステージ上のメンバーとフロアの参加者が一体となって曲のリズムに合わせて、ハンカチを振るパフォーマンスなどが繰り広げられました。

オープニングアクトで盛り上がった会場は、続くスペシャル対談の開演に向けてワクワクした雰囲気に包まれていきます。そこへ舞い降りるかのよう

に角野さんと阿川佐和子さんが登場しました。電話でも話したことがないという初対面のお二人、そんな距離感をまったく感じさせずに阿川さんが問いかけます。娘さんが描いた絵に着想を得て生まれた『魔女の宅急便』にまつわるエピソード、日本の児童文学を切り拓いた石井桃子さんとの思い出、作家自身が楽しいと感じながら物語を綴ることを大切にしていることなど、角野さんが独特のニュアンスで飄々と答えていき、対談は時にコミカルに、そしてメルヘンチックにも展開していきました。

今回のテーマ『しあわせのカタチ』について、対談では「物語を読んでいて素敵だな、と感じた時に立ち止まって空想の世界に浸れることが大切」「美しい月を見て、その喜びを人と分かち合えることもしあわせ」と語られました。社会の変化やスピードに追われる日々でも、自分の気持ちや感性が「好き」や「しあわせ」を感じる自由さへの礼賛とともに対談は締めくくられました。一人一人のなかにある「しあわせ」を大切にしてほしい、というメッセージは、日本福祉大学が追求する「Well-being for All～万人の福祉のために」に繋がったようです。

セミナー実行委員長の杉田哲也東京地域同窓会会長は「首都圏という人口も大学も多い地域で学園創立70周年記念事業として成功させるという大仕事を、関東地域ブロックが団結し、大学・東京サテライトオフィスの全面的な協力も得ながら達成できました。この流れは次回、静岡県での開催にも引き継がれるでしょう。」と振り返っています。



会場が一体となったドレミファダンス



初対面とは思えないテンポで進んだ対談



しあわせのカタチが言葉で紡がれました

### 【プログラム】

- ◆開会 ～学長メッセージ  
「すべての人の『しあわせのカタチ』を参加者の皆さまとともに考える素敵な時間に」  
原田 正樹 氏(日本福祉大学学長)
- ◆オープニングアクト  
ドレミファダンスメンバーと会場が一体となる楽しいダンス  
ドレミファダンス(特定非営利活動法人AVA)
- ◆スペシャル対談  
「しあわせのカタチ ～子どものしあわせ、大人のしあわせ～」

- 角野 栄子さん(作家・日本福祉大学客員教授)
- 阿川 佐和子さん(作家・エッセイスト)
- ◆閉会式  
閉会挨拶  
(セミナー実行委員長・東京地域同窓会会長 杉田 哲也 氏)  
次回開催地挨拶(静岡県地域同窓会会長 増田 せつ子 氏、  
次期実行委員長 藤元 聖一 氏)
- 司会進行  
岩佐 まりさん(フリーアナウンサー・本学卒業生)

# FUKU+AGENT

## 福祉分野の転職支援サービス

福祉・介護業界特化！業界を熟知したキャリアアドバイザーが、求職者と企業を繋ぎ、新たなスキルの習得（リスキリング）と転職活動をサポートします！



誰かのために。自分のために。

FUKU+AGENT を利用する  
3つのメリット

キャリアアップに向け

将来の展望が  
具体的になる！

スキル習得で

給与アップの  
チャンスGET!\*

実務未経験でも

応募できる求人の  
幅が広がる！

※各企業によって賃金体系や対応が異なります。

### サポートの流れ

- お申込
- キャリア面談
- リスキリング
- 求人紹介※・書類添削
- 応募・選考
- 内定・入社
- フォローアップ面談

開催予定のリスキリング講座（有料） 開講時期等はWEBでご確認ください。

- 介護職員初任者研修
- 社会福祉士試験対策講座
- ガイドヘルパー研修
- 精神保健福祉士試験対策講座
- 介護福祉士実務者研修
- 介護福祉士試験対策講座
- ケアマネジャー試験対策講座



今なら！

経済産業省「リスキリングを通じたキャリアアップ支援事業」により、所定の条件を満たす方は上記のリスキリング講座受講料が半額になります！

エヌエフユー キャリアアップ

※現在ご紹介可能な求人は愛知県内のみ。今後、近隣他県にも紹介範囲を拡大予定です。

福祉・介護業界で活躍されている同窓生のみなさまへ

人材紹介をご希望の企業様・法人様を募集しています。

ご相談は  
こちらへ



お問合せ先

株式会社エヌ・エフ・ユー リカレント事業課 リスキリング担当  
TEL : 0569-47-6524 MAIL : agent@nfu.co.jp  
WEB : https://www.nfu.co.jp/

大学近況

## 第20回福祉用具アイデアコンテスト

日本福祉大学健康科学部では「誰もが快適に暮らせるための「もの」や「サービス」の工夫」をテーマに、第20回目となる福祉用具アイデアコンテストを開催し、全国の高校生から666点もの作品の応募がありました。この中から5点の作品が選ばれ、最優秀賞、優秀賞(3作品)、特別賞の各賞が贈られました。

10月29日(日)に東海キャンパスで表彰式が行われ、山中武彦学部長は「皆さまが生活を豊かにするためのアイデアをカタチにされたことに、心から敬意を表します」と、感謝と労いの言葉を述べました。受賞者の中には作品の実用化に向けた取り組みを続けている方もいて、コンテストが福祉社会の実現に向けて果たしていく役割にも期待が高まります。

福祉用具アイデアコンテストは2004年度に情報社会科学部(当時)で始まり、全国の高校生・高等専門学校および専門学校生から8,000を超える応募をいただいています。



コンテストの詳細はこちらの2次元コードからご覧いただくことができます。



コンテストで入賞した皆さん



最優秀賞に選ばれた「照らすスティック」

大学近況

## みやぞんさんが日本福祉大学で講演

11月30日(木)、美浜キャンパス学生自治会が主催するANZEN漫才 みやぞんさんの講演会が美浜キャンパスで行われ、100名以上の学生が聴講しました。みやぞんさんは20代の頃に8年間ほど知的障害者施設で働いており、その体験に基づいて語られた講演は、本学の学生にとってたいへん興味深いものとなりました。

福祉の仕事については「利用者の方を自分の想いに合わせて変えようと考えず、ありのままの個性を尊重することで、仕事のやりやすさや楽しさを感じるようになりました」と話しました。また、福祉を学ぶ学生に対しては「相手の幸せのために働くためには、まず自分を大切に



にして自分が幸せであると感じられるようになり、それを分かち合う気持ちでいてください」と語りかけました。

「いつも笑顔」の印象が強いみやぞんさん。自分自身が楽しく、幸せを感じているからこそ、満面の笑顔がにじみ出てくるのかもしれませんが、福祉を始め、様々な分野で働く人たちに伝えたい講演会でした。

## 大学との協力により2023年度もフードドライブ (食生活応援プロジェクト)が実現

コロナ禍で生活に困窮する在学生の支援を目的として2021年度に始まった食生活応援プロジェクト。2023年度は1,400,000円の予算で11月と12月の2回に分けて美浜・半田・東海の各キャンパスにおいて実施され、いずれの回も200名を超える学生が食品・生活用品を受け取ることができました。学生からは「下宿生活を安心して送ることができて本当に嬉しい」「社会人になったら自分も支援する側に立ちたい」といった声が聞かれました。

知多地域同窓会が中心となって取り組まれてきたこのプロジェクトは、今年度をもって終了することになりました。全国の地域同窓会からもご協力をいただき、ありがとうございました。



## 北陸県人会 活動報告

11月4日(土)に開催された大学祭で模擬店企画に参加し、「とり野菜みそ鍋」を来場者に振舞いました。県人会活動に参加する学生10名は、この日に向けて幾度も試食会を重ね、看板制作等を準備し当日を迎えました。この日の愛知県は24度を超える気温…。鍋ものを売るには厳しい状況でしたが、メンバー全員で呼びかけを続けた結果、なんとか完売することができました。また、今回は4年ぶりに入場制限のない大学祭ということもあり、学生時代に県人会活動に参加していた多くのOB/OGが遊びに来てくれました。

コロナ禍の影響で県人会活動も危機に陥り、北陸全体がまとまったの活動に移行しましたが、これからも引き続き、地元の体温を感じられるようなグループにしていきたいと思います。北陸地域の多分野でご活躍されている諸先輩方におかれましては、学生の就職活動等でお世話になるかと思いますが、引き続きのご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

(文責:小寺功祐・松岡英貴)



# 世界の舞台をめざして競技に打ち込む!!

日本福祉大学では部活動・サークルの強化支援に取り組み、多彩な活動を後押ししています。スポーツ系サークルの分野では、2017年度のスポーツ科学部開設によりその成果はさらに充実してきました。コロナ禍では練習、競技とも厳しい環境に置かれた期間もありましたが、2022年度には5名の学生がプロスポーツの世界に向けて卒業しました(同窓会報130号で紹介)。

そして今年度も在学生在が大きな大会を制するなどの輝かしい実績がありました。そのなかから今号では、直近のアジア大会やオリンピック・パラリンピックでの活躍が期待される3人の在在学生アスリートの活躍とメッセージをお届けします。

## メッセージ

- ① 競技を始めたキッカケとこれまで
- ② 競技の魅力、競技に對して心掛けていること
- ③ 今後の目標や夢

## ～トライアスロン～



林 愛望  
(スポーツ科学部)

### 【主な実績】

- ◆第28回日本トライアスロン選手権 優勝(2022/東京・台場)★史上最年少記録
- ◆アジアトライアスロンジュニア選手権 優勝(2023/蒲郡)
- ◆第25回日本U19トライアスロン選手権 優勝(2023/長良川)

① トライアスロンは現在のコーチに誘われて小学6年生の時に始めました。中学・高校では陸上部に所属しながら競技に参加し、大学では陸上部と水泳部でトレーニングを重ねています。

② トライアスロン競技の魅力は3種目あること。複数の種目で戦いながら順位を上げたり、自分の強みを生かすことができます。それだけに、体調管理と栄養の摂取(栄養管理)を大切にして、競技に備えています。

③ 今後は2026年に愛知県で開かれるアジア競技大会で優勝することを目標にしています。これからのいい結果が残せるように頑張りますので、応援よろしくお願いします!



## ～パラ水泳～



岡島 貫太  
(スポーツ科学部)

### 【主な実績】

- ◆2023ジャパンパラ水泳競技大会(横浜)  
50m自由形 1位、400m自由形 2位  
100mバタフライ 1位、200m個人メドレー 2位
- ◆杭州2022アジアパラ競技大会(中国・杭州市)  
50m自由形 4位、400m自由形 5位  
100mバタフライ 5位、200m個人メドレー 5位
- ◆第40回日本パラ水泳選手権大会(2023/佐賀)  
50m自由形 1位、100m自由形 1位  
50m背泳ぎ 1位(日本新記録)  
100m背泳ぎ 1位(日本新記録)

① 5歳の頃に家族の勧めで水泳に会い、14歳でJ-STARプロジェクトに応募したことをきっかけに今のパラ水泳の道に入りました。

② パラ水泳には多種多様な障害を持った選手がおり、障害の種類や重さに応じてクラス分けがされています。選手はそれぞれに合った泳ぎを磨き、試合に臨みます。選手の数だけ泳ぎ方があるという点がパラ水泳における最大の魅力であると思います。その中でも私は、スポーツの持つ力である、人々に勇気や希望を与えるような「アツいレース」ができるように努力することを特に大切にしています。レース後、応援してくださる方々や友達に、「今のレース良かった」、「めちゃくちゃアツかった」と言ってもらえることが私の水泳のモチベーションになっています。

③ 今後の目標は、2024年にパリで開催されるパラリンピックに出場すること、2026年に愛知で開催されるアジアパラ競技大会で優勝することです。その目標を実現するために、今後もトレーニングに励みたいと思っています。



吉田 琉那  
(スポーツ科学部)

### 【主な実績】

- ◆第6回世界デフ水泳選手権大会(2023/アルゼンチン)  
100mバタフライ 8位入賞  
400m個人メドレー 6位入賞  
女子4×100mメドレーリレー 4位入賞
- ◆2023ジャパンパラ水泳競技大会(横浜)  
100m自由形 2位、50m背泳ぎ 1位  
50mバタフライ 1位、100mバタフライ 1位
- ◆特別全国障害者スポーツ大会・燃ゆる感動かごしま大会(2023/鹿児島)  
50m自由形 3位、50mバタフライ 2位

① 5歳から水泳を始め、キャリアは16年目になります。幼少期は水が顔にかかるのも怖くて泣いていましたが、家族が海に行くことが好きで姉と一緒にスイミングスクールに入りました。障害を持っているということでなかなかスイミングに受け入れてもらえなかったのですが、いつか父の故郷の沖縄の海を家族で泳ぎたいという両親の強い思いから、スイミングスクールでのレッスンを受けられることになりました。

② 水泳を始めてからボビングだけで1年間かかりましたが、泳ぐことが楽しくなり、イヤだと思ことはありませんでした。泳いでいくうちに種目が増えたり泳げる距離が伸びていくことが楽しかったです。今は、自己ベスト更新と大会の標準記録の突破に魅力を感じています。

③ 今後の目標は、2024年デフアジア大会、東京2025デフリンピック大会への出場です。まだ力不足ですが、大学での練習を積み重ねて、必ず出場できるように努力したいと思っています。障害を持った子供達が楽しく泳ぐことができ、私と同じように障害が重くても選手を目指せるような環境を作っていきたいと思っています。



# 特別強化指定部・強化支援部の活躍

2023年度は新型コロナウイルスの感染の落ち着きを受け、規制・制限が緩和されて様々な大会が行われました。美浜キャンパスにはリーグ戦をはじめ、各種大会に参加するための練習に励む声に戻り、大学生らしく過ごせた1年でした。

部活動名	大会名	結果	備考	
硬式野球部	2023年度愛知大学野球連盟 春季リーグ戦	2部2位		
女子ソフトボール部	団体 橋場徹哉	前期リーグ9位 / 下位リーグ(後期)3位	1部残留	
	団体 樋口ゆら 渡邊亜紀穂、洞口舞、樋口ゆら	下位リーグ得点王(6得点)		
女子ソフトボール部	団体 清水香緒	1部2位		
	団体 樋口ゆら	新人賞		
	団体 多氣彩華	1部ベストテン		
	団体	ベストマネジメント賞		
	団体	1部3位		
	団体	盗塁賞		
トホ多	団体	1部ベストテン		
	団体	ベスト8		
トホ多	団体	ベスト16		
	団体	1部リーグ6位		
ラグビー部	2023年東海学生Aリーグ	1部リーグバウンド3位、アシスト4位		
アーチェリー部	団体	リーグ8位		
	団体	第9位		
	佐々木蓮真、三井尚美、中根来木	第58回全日本学生アーチェリー男子王座決定戦 Supported by KOWA	第9位	
	島岡祉月、中根来木	第21回全日本学生室内アーチェリー個人選手権大会	出場	
	【男子】佐々木蓮真、川瀬翔也、島岡祉月、中根来木	第61回全日本学生アーチェリー個人選手権大会	出場	
	【女子】三井尚美、山田侑奈、高井久美子、浜下音花	第32回全日本学生アーチェリー東日本大会	出場	
アメリカンフットボール部	東海学生アメリカンフットボール連盟主催秋季リーグ戦	2部リーグ7位		
弓道部	団体	第67回東海学生弓道秋季リーグ戦	IV部Aブロック優勝	
	団体	第66回東海学生弓道選手権大会	男子団体第4位	
	団体	第67回東海学生弓道女子秋季リーグ戦	V部優勝	
硬式テニス部	団体	令和5年度東海大学対抗テニス1部リーグ戦	男子1部4位、女子1部4位	
	中尾隼也	2023全日本学生テニス選手権大会	男子シングルス出場、男子ダブルス出場	
	藤本博文		男子シングルス出場	
	石川亜弥		女子シングルス出場	
	中尾隼也	第83回東海学生テニス選手権大会	男子ダブルス3位	
ゴルフ部	川野翔汰、藤本博文	第25回東海学生チャレンジテニストーナメント大会	男子ダブルス準優勝	
	河野涼介	2023年度全日本アマチュアゴルフフェーズ選手権	出場	
水泳部	岡島貴太	杭州2022アジアパラ競技大会	50m自由形4位、400m自由形5位、100mバタフライ5位、200m個人メドレー5位	
	吉田琉那	第6回世界デフ水泳選手権大会	400m個人メドレー6位、100mバタフライ8位	
	団体	第99回日本学生選手権水泳競技大会	女子団体出場	
	末光唯楓		200m自由形出場	
	磯部風沙	第92回2023年度中学生選手権水泳競技大会	200m自由形7位、400m自由形7位	
1部卓球部	団体	東海学生卓球春季リーグ戦	男子2部2位、女子3部3位	
	団体	東海学生卓球秋季リーグ戦	男子2部2位、女子3部優勝	
	佐野晴喜	東海学生卓球新人大会	シングルスベスト8	
	森文乃	第55回東海学生卓球各別大会	女子3・4部シングルス優勝	
	佐野晴喜、亀山尚史	第17回東海学生卓球チャレンジカップ	男子ダブルス準優勝	
	森文乃		女子シングルス3位	
男子ソフトボール部	団体	中京テレビ杯令和5年度春季第92回東海地区大学ソフトボールリーグ戦	I部3位	
	相島克亮、浜塚光希		I部ベストテン賞	
	団体	中京テレビ杯令和5年度秋季第93回東海地区大学ソフトボールリーグ戦	I部5位	
トホ多	団体	第58回全日本大学男子ソフトボール選手権大会	I部ベストテン賞	
	団体	第94回東海学生バスケットボール2部リーグ戦	ベスト8	
トホ多	団体	第94回東海学生バスケットボール2部リーグ戦	3位	
	森本倫太郎		3Pランキング3位、得点ランキング4位、優秀選手賞	
	団体	第74回全日本バドミントン選手権大会	男子団体出場、女子団体出場	
	齋藤樹	第45回東海学生新人バドミントン選手権大会	男子シングルス準優勝	
トホ多	平口、高見組		男子ダブルス優勝	
	濱野、小椋組	第71回東海学生バドミントン選手権大会	男子ダブルス優勝	
	濱野翠斗		男子シングルス3位	
	団体	第41回全日本大学女子駅伝対校選手権大会東海地区選考会	2位	
陸上競技部	団体	第16回東海学生女子駅伝対校選手権大会	3位	
	林愛望	アジアトライアスロンカップ(フィリピン/スービックベイ)	6位	
	団体	アジアトライアスロンジュニア選手権(蒲郡)	1位	
	団体	日本U23スプリント/U19トライアスロン選手権(長良川)	1位	
	団体	日本トライアスロン選手権(台場)	2位	
	鮎川翔	天皇賜杯第92回日本学生陸上競技対校選手権大会	男子800m出場	
	団体	秩父宮賜杯第76回西日本学生陸上競技対校選手権大会	男子800m5位	
	山田葵	天皇賜杯第92回日本学生陸上競技対校選手権大会	女子1,500m出場	
	団体	秩父宮賜杯第76回西日本学生陸上競技対校選手権大会	女子1,500m出場	
	団体	第106回日本陸上競技選手権大会クロスカントリー競走	シニア女子8km出場	
	団体	第89回東海学生陸上競技対校選手権大会	女子1,500m4位	
	永谷千宙	2022全日本大学女子選抜駅伝競走	全日本大学選抜 選抜	
	団体	第106回日本陸上競技選手権大会クロスカントリー競走	シニア女子8km出場	
	団体	秩父宮賜杯第76回西日本学生陸上競技対校選手権大会	女子1,500m出場、女子800m出場	
	団体	第89回東海学生陸上競技対校選手権大会	女子1,500m7位、女子800m3位	
金子泰良	秩父宮賜杯第76回西日本学生陸上競技対校選手権大会	男子800m出場		
桑原舞	第89回東海学生陸上競技対校選手権大会	女子5,000m8位		
純浦美桜	第50回東海学生陸上競技秋季選手権大会	女子5,000m3位		
団体	第50回東海学生陸上競技秋季選手権大会	女子5,000m2位		
団体	第89回東海学生陸上競技対校選手権大会	男子やり投げ5位		
林信太郎	2023年度東海学生陸上競技春季大会	男子やり投げ6位		
団体	第50回東海学生陸上競技秋季選手権大会	男子やり投げ7位		
団体	第89回東海学生陸上競技対校選手権大会	女子10,000m6位		
藤井優羽	第50回東海学生陸上競技秋季選手権大会	女子10,000m1位		
合奏研究会吹奏楽団	2023年度愛知県吹奏楽コンクール	銀賞		
ダンス部	USA Japan チャレンジ&ダンス学生選手権大会、大学部門オープン編成部門	1位		

## サークル紹介

日本福祉大学学生生活

### ●ラテン音楽同好会

こんにちは！ラテン音楽同好会です！

ラテン音楽同好会では、邦楽・洋楽・Jポップや懐かしい曲など、一人ひとりの好きな音楽を尊重し、共に鑑賞・演奏をして楽しむことを大切にしています。

主なバンド楽器に加え、管楽器やその他の楽器も演奏できるところが魅力の一つです。

固定バンドで定期的集まり、音楽や大学生活について話したり、演奏したりと、暖かな雰囲気で行っています。自分でバンドを作り、活動することも可能です！そして、季節や行事ごとのライブ、福祉事業所での野外ライブ、大学祭でライブなどを企画し、行っています。

新型コロナウイルスの影響もあり、決して多くはない人数になってしまいましたが、「学年問わず親しみやすく、居心地が良いサークル」というラテンの特徴を活かして、メンバー同士の交流を深めています。そして交流の中から技術の向上を目指したり、新たな楽器に挑戦したりと、楽しさで溢れています！

今後も、先輩方が作り上げてきたラテンの雰囲気を残しつつ、新たな形を加えて活動していきます。ラテン音楽同好会をよろしくお願いいたします。



### ●パラスポサークルROAIS

こんにちは！はじめまして！私たちはパラスポサークルROAIS（ロアイス）といます。私たちROAISは、2022年度の9月から活動を開始した新しいサークルです。ROAISの名前の由来は、パラリンピックの理念でもある「共生社会の実現」を英語するとRealization Of Inclusive Socialityとなり、その頭文字をそれぞれ取りました。今日ROAISでは、その名の通りパラスポーツの体験・普及・パラスポーツ競技の大会のボランティアなどの活動をしています。

2022年度は、10月に東海市の「第2回東海市ふるさと大使佐藤仙務杯ボッチャ交流大会」の運営ボランティアに参加したり、12月には「第21回あいちボッチャ競技大会」での審判・タイマーを行ったりとパラスポーツの活躍の現場を生で感じることができました。また、パラスポーツを通して椋山女学園大学さんとのボッチャ交流会もしました。

2023年度は、ボッチャだけにとどまらず9月に開催された「第5回身体障害者世界野球大会」をみんなで観戦したり、大学祭でブラインドサッカー（視覚障害者の競技）やシッティングバレーの体験会を企画したりと様々なパラスポーツに触れる機会となりました。また、パラスポーツでの地域とのつながりを重視し特定非営利法人チャレンジドさんの日中一時支援チャレンジクラブの企画を半年に1回程度考案したり、社会福祉法人みはま福祉会セルブ・アゼーリアさんのボッチャ大会に参加したりと交流の輪を増やしています。

まだまだ、1年ほどしかない歴史の浅いサークルですがこれから様々なことに挑戦していこうと思っています！将来的には、ROAIS主催の地域や大学を巻き込んだパラスポーツ大会などを開催できたら面白いのではないかと考えております！皆さまぜひ、今後ともパラスポサークルROAISをよろしくお願いいたします！



## 第71回福祉大学祭について

日本福祉大学 学生課

本学美浜キャンパスにて2023年11月4日(土)に第71回福祉大学祭を開催しました。福祉大学祭は新型コロナウイルスの影響で2020年度以降制限を設けて実施してきましたが、今年度は4年ぶりに制限を撤廃し学生以外の方の来場も可能となりました。

主なプログラムは、学生団体によるステージ企画・教室展示企画、模擬店企画、フリーマーケット企画、移動動物園、ゲストのお笑い芸人によるライブ等です。今年度学生らが掲げたテーマは「凌駕」、コロナ以前の開催形態に戻ったところがゴールではなく、過去をさらに超えていくという想いが込められています。中でも力を入れたのはステージ企画で、従来はキャンパス内の



既存ステージを利用して開催されてきましたが、今回は特設ステージを設置、大学祭終了後には同ステージにて学生限定の後夜祭まで実施されました。結果、3,000名以上の方々にご来場いただき、大盛況の内に幕を閉じました。

福祉大学祭は今回の経験を糧に、今後もより一層来場者に楽しんでもらえる企画作りに挑戦していきます。次回開催の折には同窓生の皆さまも是非ご参加ください。どうぞよろしくお願いいたします。

## 【日本福祉大学社会福祉学会について】

日本福祉大学社会福祉学会(通称:学内学会)は、日本福祉大学の卒業生をはじめ、教職員や現役学生を中心に(もちろん学外の方も入会できます!)、大会やセミナーなどの各種企画、学会誌「福祉研究」の発行・編集等を行っている団体です。1968年に発足し、2023年に設立55周年を迎えました。活動を通して、社会福祉現場の実践課題をもとに、現場で直面している問題や悩み、社会問題などを取り上げ共有し、より良い実践を目指しています。そんな学内学会に参加し、一緒に活動を盛り上げていきませんか?

入会後は、会員として大会やセミナーへの参加・報告、福祉研究への投稿等で全国の会員と交流することができます。様々な現場で働く仲間や教職員と交流を深めることで専門分野はもちろんのこと、それ以外の分野も知ることで世界が広がり、より多面的な視野を持つことができます。

また、併せて学会の運営(大会やセミナーの企画、会報の作成、福祉研究の発行等)を担う運営委員・全国委員も募集しています。メーリングリストの活用等により、遠方に住んでいる方でも、学会運営に携わっていただけます。興味をお持ちになりましたら、学会事務局までメールにてご連絡ください。皆さまのご参加お待ちしております。

## 【福祉研究(116号)のご紹介】

学内学会機関誌『福祉研究』は、学内学会が1968年に発足して以来、2023年までに116号を数えるまでになりました。この55年あまりの歴史の中で、それぞれの時代の社会福祉の諸課題へ挑戦した同窓生会員の熱い息吹が感じられる玉稿が生まれました。また、岡村重夫、一番ヶ瀬康子、真田是、浅賀ふさ、浦辺史、窪田暁子、児島美都子、大泉博、竹中哲夫、秦安雄、高島進、宮田和明、小川政亮、坂寄俊雄、大友信勝、笛木俊一、大野勇夫、生江明、木戸利秋といった日本福祉大学を支えた内外の教授陣からも多数の論考を発表しています。

最新の116号は、現役の福祉大学の教員による現在の複雑化する社会福祉の様相をマップするための「社会福祉の現在」、日々の実践現場の実態を記録・蓄積し実践へ活かすための「実践レポートをどう書くか」という二つの特集を組んでいます。とても充実した内容になっていると自負しておりますので中身を読んでいただければと希望しております。

「福祉研究」は本116号より創英社を通じて生まれ変わり、Amazonを通じて販売しております。



## 【第54回大会の報告】

2023年9月30日(土)に第54回大会を開催しました。コロナ禍ではZoomによるオンライン開催が続きましたが、今回はハイブリッド開催により会場参加(日本福祉大学名古屋キャンパス)とオンラインの選択が可能となりました。大会テーマは「日本福祉大学で学んだこと～社会福祉実践にどう活かすか～」とし、大学での学びを実践に活かすことの意義が体験に基づいて討議されました。

開会にあたり、2023年3月に逝去された笛木俊一先生を偲ぶ追悼ミニ集会を開催。続いて木戸利秋教授による基調講演「大学70周年 大学教育と学内学会(60年)の歴史について」が行われ、時代背景や日本福祉大学の歴史とともに歩んできた学内学会の活動、実績と存在意義を再確認する機会となりました。開催テーマによるシンポジウムでは3名のシンポジストがそれぞれの経験とメッセージを述べ、学びが実践に役立ち、かつ参加者にとっても重みのある価値に繋がりました。

第55回大会開催に向けては運営委員会・全国委員会でも内容を検討中です。開催日時や詳細が決まりましたら学内学会ホームページにて周知させていただきます。また、日ごろの実践報告を大会の中で行いたいという方がいらっしゃいましたら事務局までご連絡ください。

## 問い合わせ先・入会申し込み先

### 日本福祉大学社会福祉学会(学内学会)事務局

〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田 日本福祉大学内

●ホームページ:<https://sites.google.com/view/nfu-ssw/>

●メール:gakkai@n-fukushi.ac.jp ●FAX:0569-87-1690



ホームページ

# 同窓生リレーずいそう

最初の卒業生が誕生してから69年…9万人を超える同窓会員が全国津々浦々で活躍されています。卒業後、学生時代に仲が良かった友人や先輩・後輩と連絡が取れなくなってしまったご経験もあるかと思います。本企画は各所属毎に現在の状況や思いをリレー方式で繋げていくことで、点を線で結びつけるものです。ひょっとしたらこれがきっかけで、ご友人と再会できるかもしれませんね。

## 社会福祉学部



社会福祉学部 2010年3月卒業  
兼田 将史 ★ 愛知県在住

### 4年間があって今がある

思い出すのは、知多奥田での生活やアルバイト、4年間打ち込んだハンドボール部での活動です。3年時には弟も入学し、兄弟で暮らすことになりました。同じハンドボール部に入部（ポジションも同じゴールキーパー）し、共に汗を流しました。このような経験をさせてくれた両親、家族には感謝しかありません。在学時、二木立先生には厳しく、時にユーモアも交え指導していただき、今の自分があると言っても過言ではありません。先生とは、年賀状のやりとりを続けており、直接お話す機会はないですが、近況を報告させていただいています。卒業後は、福祉ではない分野に進みましたが、転職し、現在は行政の福祉職として勤務しています。福祉の仕事をしていると福祉大の卒業生とお会いする機会も多く、うれしくもあり、活躍する卒業生の方々を誇らしく思います。昨年から縁あって、地域のハンドボール教室をお手伝いするようになりました。子どもたちが楽しそうにプレーし、上達していく姿をみると自分事のようにうれしく思います。最後に、このリレーが卒業生のつながり、再会の場として続き、つながり続けることを願っています。

▶ 今回は、山田 和輝さんにバトンタッチします。

## 女子短期大学部



女子短期大学部 1993年3月卒業  
長野県上田高等学校卒  
吉戸 香 ★ 愛知県在住

### 大切な2年間

他県の田舎に住んでいた私にとって、短大での2年間は初めての経験ばかりでした。その中でも一人暮らしは色々大変でした。実家で父母に甘やかされていたことに気づかされ、自分が恥ずかしくなったことを今でも覚えています。また、一人で考える時間もたくさんあり、それまでぼんやりとしていた将来のことをじっくり考え、自分と向き合うきっかけになりました。先日、大学時代の友人と南知多のキャンパスまで行ってみました。卒業して何十年も経つのに、毎回会うと一瞬で昔に戻れる感覚があります。当時の話……楽しかったことも悩んでいたことも若気の至りだったことも、すべて受け止めてくれる仲間。そしてこんな年齢になってもふざけ合える仲間。今、それぞれの仕事や生活があっても、いつも変わらない気持ちで話せる友人ができたのも、この短大時代のおかげです。現在は、そのまま縁あって愛知県で暮らしています。18の時に日本福祉大に来たことが今につながっています。故郷を懐かしむ気持ちはもちろんありますが、自分にとっては、この選択が人生の分岐点だった、本当に良かったと、心から思っています。▶ 今回は、上嶋 美由紀さんにバトンタッチします。

## 経済学部



経済学部 1995年3月卒業  
愛知県立高蔵寺高等学校卒  
酒井 和希 ★ 愛知県在住

### まさかの今

卒業してから企業人として数々の経験をさせていただきました。新卒で入社した当時の職場環境は、充滿するタバコの煙…今思うと“ハラスメント?!”とおぼしき飛び交う言動…今ではあり得ない光景がよみがえり、時代の流れを感じます。かなり根性鍛えられたなあ。その後、日福の関連会社に転職し20数年。あっという間に時が過ぎ、かけがえのない人たちとの貴重な経験は数知れず、感謝でお腹いっぱい。そんな中、新たなチャンスをいただき、コロナ禍と同時に退職し、通信教育部で精神保健を学び、現在は障害福祉分野のワーカーをしています。まさか卒業して約30年経った今、障害福祉分野でワーカーをしているとは……。よくよく考えると、日福の経済学部に入學して過ごした4年間からすべてが繋がっていて、出逢った人たちにたくさんの刺激をもらって今があることに、とにかくありがたいと思う今日この頃です。▶ 今回は水野 安代さんにバトンタッチします。

## 情報社会科学部



情報社会科学部 2000年3月卒業  
河村 洋行 ★東京都在住

### 感謝を忘れずに

大学生生活で思い出すことといえば、1期生の先輩方、生涯学習センターの職員さんに講師の先生、そして卒業論文のご指導をいただいた秋田宗平先生。たくさんの方々に支えられ過ごした四年間でした。サークル活動では「おたまじゃくし」に所属して、半田キャンパス事務棟で発表会をしたこともありました。

同級生との思い出は沢山。週の半分泊めてもらったり、キャンパスから駅まで毎日のように送ってもらったり。そして、浜松に鰻を食べに行ったり、山梨へ“ほうとう”を食べに行ったり。誰かの発案にみんなで「やろうよ!」って直ぐに行動したのは若さだけではなかったと思いますね。

卒業から23年、今は都内の宗教法人で働いています。1ヶ月後にはお金が全然ない、生活できない、そんな危機に直面した事もありました。そんな時に助けてくれたのも、かつてお世話になった方達でした。支えられ、助けられて今の自分が存在していることを改めて実感します。感謝を忘れることなく、今度は自分が支え、力添えできる側になれたらと思います。

▶ 次回は、伊藤 洋一さんにバトンタッチします。

## 福祉経営学部



福祉経営学部 2007年3月卒業  
徳島市立高等学校卒  
露口 祐介 ★大阪府在住

### 糸

2007年に福祉経営学部を卒業後、福祉業界で働く中で、同じ日福で学んで卒業した仲間との、学部・学年を越えた連帯や繋がりを感じ、それを励みにしながら働いています。卒業したばかりの頃は、公私で繋がりのある友人達と楽しく飲み会をして励ましかったり、資格取得やお互いの職場業務について情報交換したりと交流も盛んでした。それがお互いに家庭を持つようになったり、仕事やそれ以外の面でも役割や責任が大きくなるにつれて、直接交流する機会は少なくなる一方で、同年代の親として相談できる間柄であったり、同じスタート地点から社会に踏み出した仲間だからこそできる話があり、学生時代や20代の頃とは形を変えて深みのある関係を育ててこられたように感じています。そんな素晴らしい繋がりを築けた日福での学生生活に感謝しながら、これからもその関係を大切に歩いていきたいと思っています。

▶ 次回は、細川 朝香さんにバトンタッチします。

## 通信教育部 福祉経営学部



通信教育部福祉経営学部 2019年3月卒業  
高橋 恵子 ★東京都在住

### 同窓の縁と繋がりに感謝!

大学で学び始めて、あっという間の10年が過ぎました。在学中は、通勤や休憩時間に授業を受け、出張先で課題を仕上げ、休日には、全国のスクーリングに足を運んで出逢いに繋げる。ハードでしたが、働きながら学ぶ楽しさに満ちたかけがえない時間を過ごすことができました。コロナ禍で、自己資源の配置換えが求められたのを機に、思い切って仕事を辞め、父の介護と向き合う時間を増やしましたが、看取るうえで、学んだ死生観が自身の支えになりました。現在は、大学の友人に紹介してもらった施設で「ソシオエステティシャン」としての活動を少しずつ始めています。触れることを通じて、闘病・介護生活を送る方やその家族に寄り添い励まし、その人らしさを取り戻すための支援がしたいという想いがあります。そんな自分の成長のためにも、年3回、認定同窓会に参加して、共に仲間と学び続けています。

▶ 次回は、八木 みどりさんにバトンタッチします。

## 大学院



国際社会開発研究科 2023年3月修了  
甲陽学院高等学校卒  
渡部 晃三 ★ケニア在住

### 国際協力の現場で「取り組みの効果」を考える

私は国際協力の現場で長く働いてきましたが、開発を体系的に学びたいと思い立って国際社会開発研究科に入学しました。先生方から繰返し指導いただいたのが、「先行研究から学ぶこと」、「客観的な視点で問いを磨くこと」でした。また、先生方や在学生との掲示板やスクーリングでの意見交換から得られたアイデアは、すぐに仕事の国際協力に活かすことができました。さらに、開発の問題は途上国だけではなく日本国内にも様々にあり、日本の社会と福祉の今後を考える大切さに気付いたのは、日本福祉大学ならではの貴重な学びです。

現在はケニアに滞在し、保健医療研究機関の職員研修の仕組みづくりを行う国際協力事業に従事し、相手方機関での職員研修の実践とその制度化に取り組んでいます。その際、研修等の協力活動に、「果たして効果はあるのだろうか?」といったん立ち止まって、関連分野の先行研究を調べるようになったのは、大学院での学びのおかげです。

▶ 次回は、西潟 麻美さんにバトンタッチします。

## 健康科学部



健康科学部 2014年3月卒業  
愛知県立岡崎東高等学校卒  
神谷 浩平 ★ 愛知県在住

### 自分の地元で学びを活かす

私は大学を卒業後、地元愛知県の明治時代からの歴史がある地元密着型中小企業でリフォーム業の仕事をしています。お客様から住宅の不満やご不安な点を伺い、住宅改修や設備入替の提案や現場管理、アフターメンテナンスを行っています。

入社3年目より支店の店舗責任者を拝命し、現在は愛知県3店舗目のプレイングマネージャーとして奔走しています。

高齢化社会も相まって、業界の顧客世代は高齢の方が多く、大学時代に学んだ福祉の観点を活かせる日々を送ってきました。しかし、今までのリフォームとは違うリノベーションや新しい商材・デザイン・施工方法を提案する機会が増えてきている為、会社も自分も新しい時代に合わせて行く必要性を感じる毎日です。

日々学びを大切にして、ポジティブに挑戦する人生にしていきたいです。

▶ 次回は、小川 貴也さんへバトンタッチします。

## 子ども発達学部



子ども発達学部 2018年3月卒業  
岐阜県立各務原西高等学校卒  
河合 夏希 ★ 岐阜県在住

### 日常生活に般化できる授業を追究して

大学時代、グループで意見を出し合って目標や授業の展開等を考え、授業作りをしたことがとても印象に残っており、授業作りの原点になっています。

現在、地元の特別支援学校の教員として勤務しており、小学部6年生の担任をしています。授業では、子どもたちの主体性や協調性を大切に環境設定や教材作り、導入や展開を工夫しています。指導する中で、肢体不自由が故、経験不足なことが多いため、子どもたちが学習したことを日常生活に活かすことができるような授業の大切さを感じました。買物学習では、模擬店を開き、会計を待つ際の足型や、商品が店頭に並んでいなかったり、かごがなかったりなどのハプニングを用意しました。様々な工夫をすることで、子どもたちは買物の仕方やマナーを学ぶことができ、家族で買物に行った際、店員に挨拶をしたり、購入した商品を自分からマイバッグに入れたいりするなどのことができたそうです。

授業で学んだことが実際の生活に活かすことができていることにうれしく思い、子どもたちが様々なことを吸収して日々成長していく姿に教員としてのやりがいを感じています。これからも初心を忘れず、子どもたちが日常生活に般化できる授業を追究していきたいと思っています。

▶ 次回は、渡會 香純さんへバトンタッチします。

## 国際福祉開発学部



国際福祉開発学部 2014年3月卒業  
横谷 勇紀 ★ 大阪府在住

### 大学時代を振り返って

「自分の中の常識の枠を広げておくと、広がった部分に誰かが入り込むことができるようになる」そう講義中にとある先生がぼつりと呟いた一言は、今も人生のひとつの軸となっています。紆余曲折あり、卒業後は改めて看護師免許を取得し、総合病院で救急／急性期分野を経験したのち、災害医療支援活動や県庁、保健所等の行政機関で感染管理や僻地での医療支援活動を行ってきました。

医療に正解はなく、ときには倫理的なジレンマを感じることもありますが、自分の物差しで考えず、福祉的な視点を持って様々な背景を持つ患者さんと接することは何よりも大切なことだと思っています。

思い返すと大学ではお金を貯めては海外へ行き、孤児院や福祉施設でのボランティア、国内では不登校児童支援、自立支援施設での相談員、廃校再生プロジェクトなど、先生方の助けもあり様々な経験をさせて頂きました。今後は医療×福祉×国際協力、ひとつひとつの経験や出会いを糧にし、邁進していこうと思っています。

▶ 次回は、智内 健作さんへバトンタッチします。

## 看護学部



看護学部 2019年3月卒業  
愛知県立一宮西高等学校卒  
森田 篤 ★ 愛知県在住

### 経験を糧に新たなステップへ

大学を卒業し、看護師として働き始めて5年が経ちました。出会いや環境に恵まれ、救命救急センターの看護師として大きく成長できました。

今では新人教育をはじめとした看護師育成やドクターカーナースとして救急の最前線で奔走しています。新人として入職した年の冬頃から繁忙な救急の現場だけでなくコロナの長い対応に追われてきました。ようやく落ち着き、行きたかった研修や旅行、友人や家族との外食にも行けるようになりました。心にもゆとりが生まれ、今後について考えるようになりました。予てより小児看護という分野に漠然と興味があった私ですが、5年の月日を経て、小児救急をはじめとした急性期の小児看護を極めたいと思うようになり、大きな一歩を踏み出すことに決めました。4月からは静岡県立こども病院で一から急性期の小児医療・看護を学べます。不安の方が大きいですが、プロフェッショナルを目指し、沢山の子どもたちが笑顔になれるよう精進します！

▶ 次回は、石川 みなみさんへバトンタッチします。

# 絆をさらに強めて 災害復興へ

## お見舞いと救援募金のお願い

このたびの能登半島地震により被災された皆さまに、心からお見舞いを申し上げます。自らも被災しながら地域・職場の復旧に携わっていらっしゃる同窓生の方もおられることと思います。ご自身の健康にも気を付けられ、大切な役割を全うされますことを願っております。

日本福祉大学同窓会では、同窓生が一丸となり、被災された方々の苦難を様々なかたちで分かち合い、支え合っていきたいとの思いから、同窓生の皆さまの被災状況の把握と救援募金活動に取り組んでおります。これまでも家屋の全損壊・半損壊やライフラインの被害、職場や事業への被害などのご報告をいただいております(2月17日現在)。被災地域の1日も早い復旧と皆さまのご健康をお祈り申し上げます。

### ■被災状況のご連絡

被災された同窓生の方、また同窓生の被災についてご存じの方は、こちらの二次元コードから登録フォームにアクセスいただき、ご入力をお願いいたします。



### ■救援募金

お寄せいただきました募金は、日本福祉大学同窓会災害救援事業・募金規則に基づき、被災された同窓生の方々への見舞金(自宅:全損壊10万円、半損壊・1ヶ月以上の避難もしくは転居5万円、一部損壊2万円など)と、日本福祉大学災害ボランティアセンターの活動支援などに充てさせていただきます。ご協力をお願い申し上げます。

### 救援募金振込先

ゆうちょ銀行  
口座記号番号 00850-7-71311  
加入者名「日本福祉大学同窓会」

### ■日本福祉大学災害ボランティアセンターの活動について

本学の災害ボランティアセンターでは、発災直後の1月上旬から、キャンパス内・地域での募金活動や物資の支援に取り組みました。また、現地でのボランティア活動が可能になる時期に先立ち、学内での活動学習会を重ねたり、被災地の情報収集を行いつつ活動の開始に備えました。

そして2月中旬より学生先発隊および災害ボランティアセンター担当が被災地へ赴き、状況の確認とボランティア、今後の活動予定地域との調整を進めています。それを受けて学内でのボランティア募集・事前説明会へと展開して参ります(2月17日現在)。

## 公示

### 2024年度日本福祉大学同窓会代表者会議について

#### ◆代表者会議

- 開催日：2024年6月8日(土)
- 会場：サイプレスガーデンホテル  
名古屋市熱田区金山町一丁目9-8
- 議事 1. 2023年度事業報告について  
2. 2023年度収支決算について  
3. 2024年度事業方針・計画について  
4. 2024年度収支予算について  
5. 同窓会設立70周年記念事業について  
6. その他
- 学園・大学近況報告、情報交換・懇親会

#### ◆テーマ別意見交換会

- 開催日：2024年度6月9日(日)
- 会場：日本福祉大学名古屋キャンパス南館  
名古屋市中区千代田5丁目22-32
- 内容：①70周年記念事業の取り組み事例や構想を通して計画を  
(予定) 考えるワークショップ  
②同窓会・会員の課題解決を考える～若手会員の参加促進、  
会員の生活課題への支援

※代表者会議は地域同窓会から代表者(代理可)含め2名の会場参加、認定同窓会で、所定の手続きを経て代表者登録をされた団体は、1名のオブザーバー参加が可能。  
※オンライン参加も可能です(両日)。  
※6月8日のプログラム終了後、宿泊が必要な方には会場および近隣での宿泊先をご案内します。

## 公示

### 日本福祉大学同窓会役員候補者の立候補・推薦について

日本福祉大学同窓会 役員候補者推薦委員会  
委員長 平松 幸夫

- 2025年度代表者会議において役員改選が行われます。
- 役員を選考にあたり、広く全国の同窓会員の皆さまから本部役員候補への立候補および推薦を受け付けます。年代・性別・出身学部学科を勘案したバランスのとれた役員構成が可能となるように、積極的な立候補または推薦を歓迎します。
- 役員候補一覧  
次の役員を立候補・推薦で受け付け、代表者会議で選任します。  
監事は代表者会議の推薦により会長が委嘱します。  
(1) 会長 … 1名(会を代表し会務を総理する)  
(2) 副会長 … 7名程度(総括・財政・総務・組織 各1名、学部担当 若干名)  
(3) 専務理事 … 1名(会務の執行を総括する)  
(4) 理事 … 45名程度  
①地域担当 25名程度  
②学部担当 10名程度  
③専門委員会(総務・広報・情報化・事業)担当 10名程度  
(5) 監事 … 3名
- 役員任期 2025年度～2027年度
- 立候補・推薦の応募条件  
同窓会正会員または特別会員(日本福祉大学卒業生、同大学院修了生、同大学専任教職員ならびに専任教職員であった者)
- 立候補・推薦要項  
A4用紙に下記項目を記載し(様式自由)、郵送してください。  
(1) 立候補の場合  
氏名、卒業学部学科、卒業年、連絡先  
希望する役職名・担当(前記3.参照)と立候補の抱負等  
(2) 推薦の場合  
被推薦者の氏名、卒業学部学科・卒業年、連絡先  
推薦する役職名・担当(前記3.参照)と推薦理由  
推薦者氏名、卒業学部学科・卒業年、連絡先  
(3) 立候補・推薦締切 2024年9月末日  
(4) 送付先  
日本福祉大学同窓会 役員候補者推薦委員会事務局  
〒460-0012 名古屋市中区千代田5丁目22-32  
TEL 052-242-3051 FAX 052-242-3052

青森県地域同窓会

開催日●2023年9月2日(土)  
会 場●リンクモア平安閣市民ホール(青森市)  
参加者●8名

演 題:「現代における社会福祉の課題」  
講 師:今野 久寿 先生(東日本国際大学教授)

2023年5年9月2日(土)に青森市で公開講座を開催しました。介護や施設職員の人手不足と介護福祉士の希望者が少ない現状や、行方不明者や行旅死亡者、縁切り死の問題などの課題がある中で、地域共生社会の実現を目指す方向性が提起されました。徐々に会合を開くことができ、参加者の自己紹介や活発な情報交換ができ、大変有意義な同窓会となりました。(文責 今二史)



秋田県地域同窓会

開催日●2023年6月24日(土)  
会 場●秋田県総合保険センター(秋田市)  
参加者●18名

コロナ禍も明けようとする6月に参集による総会が開かれた。今回の特徴は、講演に現役学生で春の県議会選挙で初当選した佐藤光子氏の講演と現役学生3名の参加を得たこと。県会議員の佐藤氏は市議4期を経て県議に当選したが、特に「自身が県議でいる意味」や、日本福祉大学で学ぶ意義を講演していただいた。

総会では3か年計画や卒業を祝う会も議論された。恒例の懇親会は学生や初参加の参加者もあったせいか予定時間を1時間以上も超過し、新たな接点を得て今後の広がりを感じるものになった。(文責 米谷 恭一)



山形県地域同窓会

開催日●2023年7月22日(土)  
会 場●南部公民館・山形田(山形市)  
参加者●12名

2019年11月16日の山形セミナー以来の総会となりました。とにかく集まるべ、話をするべ、飲むべと山形弁3べです。初参加2名、御夫婦で、酒田、鶴岡からと最上オフィスを含めて12名の参加でした。

懇親会では山形の銘酒を飲み交わし、いも煮、山形牛のステーキ、そば等で舌鼓を打ちました。

今後、アフターコロナを見据えながら通信生の会とか、ここ最近の卒業生を囲む会等のイベントで集まりたいものです。(文責 新聞 正啓)



群馬県地域同窓会

開催日●2023年8月26日(土)  
会 場●群馬県総合福祉センター(前橋市)  
参加者●19名

今年度の総企画は、原沢会員と奥山会員による実践報告でした。コロナ禍を乗り越え久しぶりの完全対面での開催です。実に4年ぶりに会員の熱い思いを直接感じた総会でした。今回の特別企画として、42年間群馬県地域同窓会長として活躍された前会長の深山彰俊氏に、同窓会長より感謝状の贈呈を行いました。初めて参加の会員もおり次に繋がる有意義な会でした。

懇親会は、いつもの場所の「烏魚炉」です。大変盛り上がり、最後に校歌を当時混成合唱団にいた山田会員の指導で高らかに歌いました。(文責 今井 芳明)



埼玉県地域同窓会

開催日●2023年10月22日(日)  
会 場●川越市内  
参加者●11名

埼玉県地域同窓会では10月22日(日)にレクリエーション行事「川越散策2023」を開催致しました。埼玉以外も東京、千葉、群馬から11名が参加。秋晴れのお天気に恵まれ川越市産業観光館「小江戸蔵里」での昼食と埼玉県内の全蔵の日本酒の「きぎざけ処」からスタート。「熊野神社」を経由しての「まつり会館」では思いがけずお囃子実演を聞くこともできました。市指定文化財である「時の鐘」や「菓子屋横丁」などの趣のある蔵造りの町並みを散策。沢山歩いた後は懇親会で親睦を深めることができました。

(文責 梅木みさを)



2023年度東京地域同窓会

開催日●2023年7月1日(土)  
会 場●主婦会館プラザエフソレイユ(千代田区)  
参加者●21名

今年度は対面のみで開催となりました。総会では、顧問・事務局長の役職新設とそれに伴う会則改正、役員人事の変更等が承認されました。また今年度最大イベント「第35回日本福祉大学社会福祉セミナーin東京」の大成を誓い合いました。

総会終了後、昨年からはじめた「新入生歓迎会」では、新入生2名・科目履修生1名のメッセージの後、参加者一人ずつ新入生への応援メッセージを述べ合いました。この出会いが新入生の方々のニップクライフに少しでも役立ってくれることを願っています。(文責 細谷 紀子)



### 東京地域同窓会

開催日●2023年8月19日(土)  
 会場●対面主会場：フローラ田無(西東京市)、  
 サブ会場：東京サテライト、オンライン併用  
 参加者●51名

東京地域同窓会と尾林ゼミとのコラボ学習会も通算3回目。二つの会場とZoomによるハイブリッドで51名が参加しました。「いつまでも自宅で、過ごしやすい施設で、最新のテクノロジーを酷使した新しい介護の可能性」をテーマに、田島誠一先生、浅石裕司先生、尾林和子先生がそれぞれ報告。基調講演は、増山茂先生ご自身が経験された「四肢麻痺からの社会復帰」のお話。スキー中の事故で頸椎損傷してから今までの経験をMRI画像を見ながら、医師であり当事者の視線で、「命のリハビリテーション」を語っていただきました。

(文責 細谷 紀子)



### 東京地域同窓会

開催日●2023年8月26日(土)～27日(日)  
 会場●あいおいニッセイ同和損保新宿ビル(渋谷区)  
 台北夜市 新宿NSビル店(新宿区)  
 参加者●聴講6名・親睦会13名

演題：「認知症ケアと多職種連携」

講師：中島 民恵子 先生

中島民恵子先生の「認知症ケアと多職種連携」スクーリングを同窓生が聴講させていただきました。

会場の都合で参加は6名でしたが、認知症疾患の特徴・自己決定を尊重する大切さ等を当事者の方のお話から学び、多職種連携の重要性と課題について事例検討のグループワークをしながら考え合いました。

1日目終了後は在学生4名も参加し、会場近くの店で懇親会を開催。勉強の疲れを談笑で癒し、情報交換しながら親睦を深めました。対面で学び合える楽しさを再確認できた2日間でした。

(文責 葛西 なおみ)



### 東京地域同窓会

開催日●2023年9月23日(土)  
 会場●国営昭和記念公園  
 パーベキューガーデン(立川市)  
 参加者●18名

当日は薄曇りながら雨に降られることもなく、暑過ぎずちょうど良い気候に。ご家族連れで参加された在学生が3組いて、お子さん2人含めて総勢18名で、網焼きのお肉や野菜、焼きそば、ドリンク等食べたり飲んだり語り合ったり…、開放的な野外パーベキューの醍醐味を堪能しました。終了後は花盛りのコスモスを眺めながら立川駅方面へ園内散策も。今回は在学生の方々に同窓会活動を知っていただく良い機会にもなり、新たな交流の輪が広がりました。今後の活動に繋げてゆきたいと思えます。

(文責 葛西 なおみ)



### 東京地域同窓会

開催日●2023年11月25日(土)  
 会場●主婦会館プラザエフ「コスモス」  
 (千代田区)  
 参加者●23名

演題：「新カリキュラムにおける実習教育の概要と学習のポイント」

講師：太田 健一 先生

今年は感染症予防に留意しながら対面のみで東京・神奈川・千葉・茨城の各都県から在学生8名・同窓生13名が参加しました。太田健一先生のミニ講演「新カリキュラムにおける実習教育の概要と学習のポイント(必要な単位数は計画的に・課題提出締切厳守・作成時の注意点等)」の後、グループ交流。在学生から勉強方法や国試対策、実習日誌、就職ルート等の悩みや質問が出され、太田先生や同窓生、東京サテライト榊原室長から説明やアドバイスをあり、和気あいあいであったという間の3時間でした。

(文責 葛西 なおみ)



### 神奈川県地域同窓会

開催日●2023年7月8日(土)  
 会場●ウイニング横浜(横浜市)  
 参加者●48名

最初に福祉経営学部の上山崎悦代先生から「終末期におけるソーシャルワーカーの役割」についてお話を伺いました。その後、在学生と卒業生が7つのグループに分かれて討論。普段の学びや実習のこと、国試対策、進路などについて意見交換が行われました。特に新カリと旧カリの違いや実習対応への疑問については、教職員が一つひとつ丁寧に説明を行いました。参加した在学生からは、「勉強していても、ずっと孤独でした。来て良かったです」「実習に不安があったのですが前向きになれました」「こういう会を設けてもらえて良かったです。74歳だけど頑張れそう」などたくさんの感想をいただきました。また、会場では「わからないことがあったら連絡していい？」と言いながらラインを交換している在学生の姿がとても印象的でした。

(文責 片倉 博美)



### 神奈川県地域同窓会

開催日●2023年9月9日(土)  
 会場●<いもの屋>上大岡店(横浜市)  
 参加者●20名

台風一過の翌日、猛暑日を迎えた横浜で暑気払いを開催しました。通信教育学生6名、同窓生14名の参加でした。初めて同窓会企画に参加した学生や久しぶりに参加した同窓生など最近の近況を語りながら、交流を深めました。「息子に認知症の母を頼んできたので飲むぞ」「私も夫に息子を頼んできた、久々の飲み会なので嬉しい」という同窓生。「4月から就職決まりました」という同窓生。「ちょっと落ち込んでいたので元気をもらいに来ました」という学生も帰る頃には笑顔になっていました。

「こういう機会ありがたい」「やはり元気をもらえる」「今度も飲み会を開催して」など暑気払いは、大変好評でした。

(文責 片倉 博美)



### 神奈川県地域同窓会

開催日●2023年9月13日(水)  
会 場●多機能型事業所 hanto (三浦郡)  
参加者●5名

この事業所は、昨年3月に同窓生1名を含む5名の幹事で立ち上げられました。現在、生活介護の利用者が7名、就労支援B型の利用者が1名で利用者確保に成功していません。課題は山積みようです。しかし、利用している当事者の方は、自由に伸び伸びとここでの時間を自分なりに楽しんでいるようで、笑顔が絶えませんでした。また、当事者の方の作品や商品も、どれもが個性的で素敵でした。障害の種別を問わず、同一空間で時間を共にすること、居場所を作ることの大切さを学びました。短時間でしたが中身の濃い事業所見学でした。(文責 片倉 博美)



### 神奈川県地域同窓会

開催日●2023年11月28日(火)  
会 場●鎌倉市内  
参加者●12名

小春日和のなか、歴史と文化を求めて、古都鎌倉を散策しました。最初に訪れたのは、鎌倉最古のお寺、杉本寺。奈良時代に行基らによって建立されたお寺で、十一面観音像は見応えがありました。次に訪れたのは、報国寺。足利家時の開基で足利市の菩提寺といわれているところ。枯山水の庭とともに竹林が見事でした。さらに鎌倉五山の一つ、浄妙寺を訪ねました。ここには足利尊氏の弟、直義の墓がありました。最後に訪れたのは、一条恵観山莊。徳川将軍、家光の時代建てられた国指定の重要文化財です。1959年、京都から庭園と共に移築されたもの。庭園は紅葉が見頃を迎え、菊の花を浮かべた花手水も私たちを楽しませてくれました。(文責 片倉 博美)



### 福井県地域同窓会

開催日●2023年11月12日(日)  
会 場●福井市内  
参加者●12名

11月12日(日)、今回は「福井県内の名所を巡ろう」をテーマに福井市内を散策しました。あいにくの雨模様ではありましたが、大安禅寺では玄峰和尚の生き生き法話コースに参加し、厳かな環境で坐禅や呼吸法体験を行いました。さらにちょうど越前ガニの解禁日とも重なったこともあり、昼食ではせいこ蟹の釜めしに舌鼓を打ちながら交流を深めました。

「立食だと色々な人と交流しやすい」といった意見があったので、次回はパーベキューや紅葉散策も考えていきたいと思います。(文責 黒崎 啓悟)



### 岐阜県地域同窓会 飛騨支部

開催日●2023年6月25日(日)  
会 場●高山市総合福祉センター(高山市)  
参加者●14名

演 題:「こころと身体のゆるめ方」  
講 師:大森 智子 先生

6月25日の総会が終了した後、第2部として、臨床心理士・公認心理師の大森智子さんに、『こころと身体のゆるめ方』と題した講演をしていただきました。

ストレス社会と云われる現在、ストレスと上手につき合う方法や自身で少しでもストレスを解消することを学び、リラクゼーション(落ち着く、ほっとする)による対処法をいくつかご指導していただきました。

※当日は初参加の方2名を加え、14名の参加者でした。(文責 杉本 晋治)



### 名古屋地域同窓会

開催日●2023年7月22日(土)  
会 場●KKRホテル名古屋(名古屋市)  
参加者●60名

演 題:「今、ふくしの意味を問う」  
講 師:原田 正樹 先生

総会と講演そして4年ぶりの開催となる懇親交流会を開催しました。

記念講演は、原田正樹学長にお願いし、冒頭に大学の近況を紹介していただき、演題は『今、「ふくし」の意味を問う』と題して、平仮名「ふくし」の意味することから、今日社会をとらえる視点、課題、問題点等について内容の濃いかつわかりやすい講演でした。改めて、私たち卒業生は、素晴らしい建学の精神をもつ大学で学んだことを誇りに思うとともに、社会的役割を担い果たさねばと気持ちを新たにすることができました。

懇親交流会は、集いで会おうと連絡し合っただけで再会し、写真を取り合う場が見られました。今後のつながりにつながる有意義な懇親交流会でした。(文責 水野 孝安)



### 豊田・岡崎地域同窓会

開催日●2023年8月27日(日)  
会 場●名鉄トヨタホテル(豊田市)  
参加者●28名

豊田・岡崎支部では、8月27日に2023年度総会と卒業を祝う会を開催しました。会食をしながら、コロナ禍での過酷な学生生活を成し遂げた卒業生の頑張りを労い、お祝いと歓迎の他、参加者全員が近況を報告して情報交換と交流を深めることができました。

また、10月に開催された「地域共生社会推進全国サミットinとよた」に同窓生の栗本浩一氏がパネリストとして登壇し、地域同窓会として10名が応援参加しました。

同窓生との交流は、地域での仕事と生活の活力になります。是非、ご参加ください。(文責 高塚 幸江)



西三河／碧海地域同窓会

開催日●2023年10月21日(土)  
会 場●知立市歴史民俗資料館、  
知立市中央公民館(知立市)  
参加者●8名

今年は知立市の歴史を学ぶということで、歴史民俗資料館にお邪魔しました。中川学芸員さんの案内で、東海道の宿場町の概要、知立城のあった場所の地形のことまで詳しく説明していただき時間をオーバーするほどで、知立市の発展して来た様子を学ぶことができました。また、場所を変え知立市中央公民館では、宝あてゲームの他参加者の近況報告など行いました。

今回2022年に通信教育部を卒業されたAさん(70歳代)の初参加があり、年齢に関係なく勉強したいという意欲に感動しました。

(文責 杉浦 達也)



三重県地域同窓会

開催日●2023年10月14日(土)  
会 場●プラザ洞津(津市)  
参加者●42名

演 題:「子どもの貧困とスクールソーシャルワーク」  
講 師:野尻 紀恵 先生

三重県地域同窓会では、2019年以来となる講演会付き総会を開催しました。第1部として社会福祉学部の野尻紀恵先生による講演「子どもの貧困とスクールソーシャルワーク」を、第2部として総会・交流会を開催し、42名の同窓生が参加されました。交流会では第1部のテーマを深めると共に、どのような同窓会活動にしていきたいか等を皆で意見交換しました。その後第3部(?)では、任意での懇親会にも多くの同窓生が参加し、久々の“三重県地域同窓会フルコース”を堪能しました。

(文責 川口 恵生)



滋賀県地域同窓会

開催日●2023年11月11日(土)  
会 場●ウイングプラザ(栗東市)  
参加者●43名

演 題:「ライフステージを繋ぐシームレスなサービス利用について～次世代型の福祉のあり方～」

講 師:綿 祐二 先生

4年ぶりに総会・講演会・懇親会を開催することができました。懐かしい方も初めての参加の方も対面での開催を楽しむことができました。講演会は、福祉経営学部教授、綿祐二先生を迎え『コロナ禍の福祉現場や社会情勢から学ぶこと』『ライフステージに対応する福祉サービスと課題』等お話していただきました。これからの現場での働き方や考え方を学ぶことができました。総会では、役員改選がありました。2024年度は、新体制でスタートします。懇親会は綿先生も出席していただき、活発な交流で盛り上がりしました。

(文責 金尾 喜美子)



大阪地域同窓会

開催日●2023年11月11日(土)  
会 場●大阪サテライト  
参加者●19名

演 題:「居住福祉のまちづくり」

講 師:児玉 善郎 先生

大阪同窓会としては、コロナ禍以降で初の対面講演会及び懇親会を開催しました。講師には、前学長で大阪にも何度か講演会にお越しいただいている児玉善郎先生をお招きしました。前半は児玉先生からの講義で徐々に学びを得る機会として、後半は児玉先生も交えて懇親を深める機会となりました。

参加人数は、告知不足もあり20名程度で少人数でしたので、次回企画ではより多くの同窓生に参加いただければと思います。

(文責 江坂 竜二)



兵庫県地域同窓会

開催日●2023年7月17日(月・祝)  
会 場●神戸メリケンパーク  
オリエンタルホテル(神戸市)  
参加者●58名

演 題:「新しい時代のまちづくり～地域共生の住民支え合い～」

講 師:児玉 善郎 先生

兵庫県地域同窓会総会が2023年7月17日(月・祝)、神戸メリケンパークオリエンタルホテルにて開催されました。大阪、奈良、滋賀の各府県からも参加をいただき、58名の方に出席いただきました。記念講演として児玉善郎前学長にご登壇をいただき、「新しい時代のまちづくり」をテーマに、超高齢少子化社会における住民同士の支え合い活動についてご講義をいただきました。地元兵庫で活躍する同窓生2名からの実践報告に続き、総会では日本福祉大学同窓会・奈良修三会長より、10万人を迎えた同窓会の活動報告にあわせ、ご挨拶をいただきました。その後、4年ぶりとなる懇親会を開催。会場となった同ホテル屋外ピアテラスは神戸港を望む絶好の場所で、参加された40名の皆さまは終始、大盛り上がり！同窓生のつながりを深める機会となりました。懇親会の合間に映る、赤のラインが入った船舶は宮崎へ向かう大型フェリーです。神戸港から高知沖の太平洋を航行し約13時間半。翌朝8時40分に宮崎港へ到着します。宮崎県をはじめ九州各地同窓会の皆さま！神戸からは北九州、大分を含め3航路で九州各地とつながっています。フェリーのつながりをご縁に、交流の機会ができればいいですね！

(文責 本田 幹雄)



和歌山県地域同窓会

開催日●2023年10月14日(土)  
会 場●和歌山県子ども・女性・障害者相談センター(和歌山市)  
参加者●24名

演 題:「法テラスと司法ソーシャルワーク」

講 師:田坂 一也 先生(法テラス和歌山法律事務所 弁護士)

コロナで開催できずにいた総会を数年ぶりに開催することができました。講演会では、日福通信で学ばれた弁護士の田坂さんに「法テラスとソーシャルワーク」について講演していただきました。弁護士の仕事をしながら社会福祉の知識が必要な場面が多々あり、それならしっかり学ぼうと通信で社会福祉士の資格を取られたそうです。素晴らしい青年弁護士のお話を聞くことができました。懇親会では初めて参加された方々もいっしょに、皆で楽しく過ごすことができました。ありがとうございました。またお会いしましょう。

(文責 吉岡 範通)



岡山県地域同窓会

開催日●2023年9月16日(土)  
会場●ウイズアップくらしき(倉敷市)  
参加者●12名

演題：「60周年記念プロジェクト報告書を読み解き、語り合う会  
～私たちは日本福祉大学で何を学んだのか～」  
講師：訓覇 法子 先生

2023年9月16日(土) 第一回岡山県地域同窓会として『60周年記念プロジェクト報告書を読み解き、語り合う会』を開催しました。開催にあたっては報告書作成者のお一人であるスウェーデン在住の訓覇法子元教授に起こしいただきました。会では報告書を読み解く事によって、改めて自分が日本福祉大学で何を学んだのか振り返る事ができた、時代や通学・通信の差はあれども社会福祉の専門性の本質となる部分を学んだ気がする、日本福祉大学で学べて本当に良かった等の意見が数多く出されました。

(文責 森谷 扶公代)



岡山県地域同窓会

開催日●2023年9月30日(土)  
会場●国立療養所長島愛生園(瀬戸内市)  
参加者●12名

第6回国立療養所「長島愛生園」フィールドワークが9月30日(土)に実施されました。長島愛生園が企画の見学クルーズに同窓会員から神戸、広島からも加わり13名が参加。船上から長島の切り立った断崖を見ながら「人間回復の橋」と呼ばれる呂久長島大橋の下を通過して長島愛生園の棧橋に到着。学芸員の方に案内を受けながら、歴史資料館、収容棧橋、回春寮、監房、納骨堂などを見学。人権について、ハンセン病の歴史を風化させず後世につないでいかないといけないと考えさせられるフィールドワークでした。

(文責 土屋 教子)



岡山県地域同窓会

開催日●2023年10月9日(月・祝)  
会場●NPD貸会議室岡山駅前(岡山市)  
オンライン併用  
参加者●14名

2023年10月9日(月・祝) NPD貸会議室岡山駅前にて、対面とZoomのハイブリッドで、総会及び講演会、大学近況報告を開催し、14名の参加がありました。講演会では、同窓生で～日本福祉大学同窓会設立60周年記念プロジェクト～の記念誌に携わられました、杉山博昭氏より「日本福祉大学の教育が重視した社会福祉の専門性とは？」についてご報告、ご講演いただきました。また、総会では2022年度の事業報告、決算報告、2023年度の事業計画、事業予算の各案について審議いただきました。

(文責 青景 由美)



徳島県地域同窓会

開催日●2023年5月14日(日)  
会場●徳島県立総合福祉センター(徳島市)  
参加者●39名

演題：「地域課題を克服するための地域福祉活動を目指して」  
講師：渋谷 篤男 先生

2023年5月14日、渋谷篤男先生をお招きして徳島県立総合福祉センター5階ホール会議室にて、徳島県地域同窓会主催の地域福祉講演会を開催いたしました。卒業生19名、学生1名、一般19名の合計39名の方が参加くださいました。地域福祉活動について考える有意義な時間を過ごすことができました。

2024年度も5月に総会及び地域福祉講演会の開催を予定しています。同窓生の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

(文責 森 美鶴)



高知県地域同窓会

開催日●2023年7月1日(土)  
会場●高知会館(高知市)  
参加者●24名

演題：「日本の社会福祉の未来―貧困問題からみつめる」  
講師：山田 壮志郎 先生

2023年7月1日(土)午後、例年通り、高知会館にて『高知県地域同窓会の集い』を開催。社会福祉講演会の講師は社会福祉学部教授の山田壮志郎先生。演題「日本の社会福祉の未来―貧困問題からみつめる」。参加者24名。名古屋市内のNPO法人ささしまサポートセンターで、大学院時代からホームレス支援活動に参加された中からの経験と研究成果をお聞きました。【貧困の車輪】の話は興味深かった。車輪の軸は容認できない困窮。外の大車輪は行政・世間・社会の関係性からの影響を受けて相互作用から生まれてくるものだと。総会参加者15名。次回2024年7月15日(月)午後。笑顔の再会を。

(文責 小澤 秀子)



高知県地域同窓会

開催日●2023年10月25日(水)  
会場●天狗高原(高岡郡)  
参加者●5名

2023年10月25日(水) 秋晴れの日。大型自動車を貸切、高知県の天狗高原への旅を実施。参加者は平日のためか5名であったが、晴天に恵まれて心はウキウキ。途中、梶原のかやぶきレストランで昼食をとり、天狗高原の入り口で、1時間余のハイキング。かさこぞ落ち葉の音をききながらの散策は気持ちよくて、楽しかった。

柿のおみやげを買ったり、又、いただいたりとリフレッシュできた一日となった。

(文責 小澤 秀子)



## 福岡県地域同窓会

開催日 ● 2023年8月11日(金・祝)  
会場 ● 福岡市東市民センター(福岡市)  
参加者 ● 33名

福岡県同窓会の役員会と福岡県内を拠点としている四つの認定同窓会で合同ミーティングを開催しました。「また会かい」「筑豊の大人たち(ボタ山の会)」「九州学ゼミ」に、令和4年度卒業の皆さまで作った「バンブーの会」を加え、今回初めて4つの団体が集まりました。ミーティングでは明星先生による大学の歴史の紹介、全体の歓談などで同窓会間の交流を深めました。終了後、会場近くの居酒屋ではさらに親交を深めることができました。今後もこの催しが開催できるよう取り組むことにしています。

(文責 高橋 一誠)



## 鹿児島県地域同窓会

開催日 ● 2023年7月8日(土)  
会場 ● 鹿児島県社会福祉センター(鹿児島市)  
参加者 ● 41名

演 題:「家で長く暮らすためのバリアフリーのすすめ」

講 師: 村井 裕樹 先生

2013年に再始動した地域同窓会活動も10年目に入りました。当初から取り組んできた「ふくし学習会」も11回目となりました。コロナが5類になったことから、昨年に引き続き対面で行いました。講師には、健康科学部の村井准教授を招聘し、今回は、長く家に住み続けるための課題とバリアフリーの方法について、「家で長く暮らすためのバリアフリーのすすめ」と題して講演していただきました。これからも、「中央の学びを地方に」を合言葉に取り組みしていきます。

(文責 松林 大生)



## 訓覇スウェーデンセミナー同窓会

開催日 ● 2023年6月17日(土)~18日(日)  
会場 ● 東海キャンパス  
参加者 ● 29名

6月17日からの訓覇スウェーデンセミナーに参加しました。全員がスーパービジョンしてほしい事例を書き、12の自我機能を読み込み、分からないところを書き出す事前学習をして参加しました。

今回、「主体的に参加する」事を自らに課して臨んだつもりなのですが、事例の読み込み方やスーパーバイザーとして本質を見抜く力は、全く不足していました。そして、訓覇先生のこのセミナーに捧げる想いの足元にも及ばない事を痛感しました。

しかし、いつか胸を張って全力投球できたとと言えるように、これからも学び続けたいと思っております。

(文責 阿部 直美)



## 福岡県地域同窓会

開催日 ● 2023年10月21日(土)  
会場 ● 天神ビル(福岡市)  
オンライン併用  
参加者 ● 32名

10月21日(土)に「福岡県地域同窓会学習会&総会」を会場とZoomでのハイブリッド形式で開催しました。

当日は、大学から工藤英美先生にお越しいただき「発達に凸凹がある子どもへの理解と関わり方〜」と題して学習会を行いました。就学前や学童期の中で周りにいる大人がどのような対応をすればよいのか、すべての子どもとのかかわり方で大切なことについて講演をしていただきました。

また、総会後には、コロナ以降初めての懇親会を行い、参加した皆さまの現況やお仕事の事など活発に情報交換が行われました。

また、12月2日(土)には、「北九州で仲間作り交流会」と題して懇親会を行いました。4年ぶりの北九州開催となった今回は、北九州、筑豊地域に在住の同窓生14名が集まりました。

福岡県地域同窓会では、今後も同窓生の皆さまが気軽に集まれる場をたくさん作っていきたくと思っています。同窓生同士の情報交換をとおして、幅広いネットワーク作りにお役立ていただければと思っています。皆さまのご参加を心からお待ちしています。

(文責 境 寛)

## 日福大ピアサポ同窓会

開催日 ● 2023年6月10日(土)  
会場 ● 一般社団法人若者応援ルームきよす(清須市)  
参加者 ● 9名

日福ピアサポ同窓会会長の藤吉(倉田)瑞穂さんが、昨年10月逝去されました。コロナ禍で集まれていなかった同窓会でしたが、このたび、瑞穂さんへの追悼の会をしたいと思い、「若者応援ルームきよす」で4年ぶりに対面の同窓会を行いました。9人のメンバーが集まり瑞穂さんを追悼するとともに、近況報告を行い、久しぶりの再会を喜びました。

(文責 青山(小木曾)穂高)



## ワンダーフォーゲル部同窓会

開催日 ● 2023年7月9日(日)~10日(月)  
会場 ● ハヶ岳ホテル風か(北杜市)  
参加者 ● 9名

7月9日、10日にハヶ岳山麓の小淵沢のホテルに9名が集いました。私たちは卒業後も大学時代のつながりを大事にして、コロナ禍の3年間をのぞき、毎年集まってきました。仕事のこと、子どものこと、親の介護、老後についてと話題は集まるたびに変わってきました。今回は、今も現職を続けている者、パートで働いている者、ボランティアをしている者とそれぞれの暮らしぶりを話しながら、おいしい食事とお酒を楽しみました。古希を迎えたメンバーをみんなで祝い、久々の再会を喜び合う会となりました。

(文責 竹中 秀彦)



**アメリカン  
フットボール部同窓会**

開催日●2023年7月16日(日)  
会 場●美浜キャンパス  
参加者●48名

2023年7月16日、快晴のもと、美浜キャンパスの人工芝グラウンドで「OB戦」を開催。今回も若手OBを中心に社会人チームのブルータスさんにも協力いただき現役チームと対戦。今年は1年生が10名入部し、総勢20名を超えるチーム、3年生がゲームを引っ張りました。卒業生は、社会人所属の現役選手が多くのプレーで活躍しました。

OB戦終了後には「OB会2022年度活動報告、2023年度活動方針、予算・決算」の書類を配付して現役生への支援について確認しました。OB戦開催にあたり、ご協力いただいた皆さまへ感謝申し上げます。  
(文責 宮下 明大)



**増山ゼミ同窓会**

開催日●2023年9月9日(土)  
会 場●名古屋クラウンホテル(名古屋市)  
参加者●32名

還暦を迎えた増山ゼミ I 部1～3期と短大1期の合同で同窓会が開催されました。北は岩手、南は沖縄から集まった31名への増山先生からの言葉は「還暦は、まだまだ人生の通過点。おめでとうのは喜寿からだ」というものでした。仕事を退職して、ちょっとのんびりしようとしていた私たちへの優しい言葉でした。赤い物を身につけたゼミ生全員の近況報告では、施設長、企業の社長、大学の先生、災害ボランティアなど各地で活躍している姿が見られました。次の喜寿同窓会まで元気でいきましょう！  
(文責 伊藤 久美子)



**大学院16の会**

開催日●2023年9月23日(土)  
会 場●名古屋キャンパス  
参加者●11名

2017年度日本福祉大学大学院社会福祉学研究科(通信教育)修了生の有志を中心に、2023年5月13日に日本福祉大学大学院同窓会「大学院16の会」を立ち上げました。名古屋キャンパス南館5階にて、第1回目の同窓会「認定同窓会設立お祝いの会」を開催しました。本会では、設立趣旨の他、同窓会会長より大学の近況および70周年記念事業のご報告をいただき、現状と課題を確認しました。また、児玉教授による記念講義「居住福祉論」のご教授を賜りました。本会後は、近況報告を兼ねた懇親会も実施しました。  
(文責 石田 優子)



**PSW-net**

開催日●2023年7月29日(土)  
会 場●名古屋キャンパス  
参加者●24名

名古屋キャンパスで「PSW-net久しぶりに！対面で！夏の実践報告会」を開催しました。精神保健福祉士としての実践を共有し専門職としての学びを深める「実践報告会」ですが、ようやく対面開催を実現することができました。3名の発表では精神保健福祉士が有する固有の価値を遺憾なく発揮されている姿が感じられました。会場からの質疑や感想も活発に飛び交いました。青木先生の講義では、精神保健福祉士として研鑽するための大切なメッセージを受取ることができました。  
(文責 青木 美紀)



**昭和46年度卒  
大泉ゼミナール**

開催日●2023年9月12日(火)～13日(水)  
会 場●国沢山荘&モリトピア愛知(新城市)  
参加者●11名

昭和46年度卒大泉ゼミナール同窓会は、2005年の同窓会50周年の「大泉ゼミたてわり同窓会」参加以来の開催です。会員がオカリナCDを作り、ゼミ仲間に郵送した事がきっかけとなり、今年9月12日に奥三河の山荘に集いました。富山、群馬、神奈川、三重の会員が豊橋駅に降り立ち、地元会員の車2台で現地へ、大府市の会員は息子さんの送迎、関市の会員は車で直接現地集合。国沢山荘で、補欠人(ボケット)によるオカリナコンサートを鑑賞しました。その後、隣接の愛知県民の森モリトピアへ移動しました。夕食を済ませ、入浴後の部屋飲み会ではゼミの思い出話や52年の人生を語り合いました。  
(文責 國澤 貞廣)



**原田ゼミ同窓会**

開催日●2023年9月23日(土)  
会 場●東海キャンパス  
参加者●63名

原田正樹学長及び原田ゼミ卒業生総勢63名により同窓会を開催しました。2部制とし、第1部では原田先生より「地域共生社会の思想と施策」と題し講演をいただきました。先生のこれまでの研究過程や地域共生社会の考え方等について学ぶ機会となりました。その後ワークショップを行い、卒業生同士の世代を超えた交流の場となりました。第2部では場所を居酒屋に移し、近況報告等を交えながら卒業生同士や先生との交流を深めました。今後も定期的に同窓会を開催し原田ゼミのつながりを大切にしていきたいと思っております。  
(文責 馬場 貴太郎)



**訓覇スウェーデン  
セミナー同窓会**

開催日 ● 2023年9月23日(土)～24日(日)  
会場 ● 東海キャンパス  
参加者 ● 27名

教室の一面には、全国各地からセミナー参加のために来た仲間たちからの差し入れが並べられます。これは、私の密かな楽しみになっていることは間違いありませんが、何より私がこのセミナーに参加し続けている理由は、共に学びを深める、信頼する仲間に出会えるからです。

自分の困難さを事例に書いて持ち寄り、年齢、職業、職種、立場の違いを超えたグループでの学びは、より良き支援、より良き人生の糧となると感じています。全国で活躍する仲間たちへの再会時には、また少し成長した自分とも出会える気がしています。(文責 鈴木 敦子)



**ヤジエセツルメント  
OS(45-50)会・OS会**

開催日 ● 2023年9月29日(金)～30日(土)  
会場 ● ホテルミュージアム犬山エクスペリエンス(犬山市)  
参加者 ● 22名

ヤジエセツルメントの2つのOS会を合同で犬山市内のホテルにおいて開催し、22名が参加しました。今回は1962～1970年卒のOS会が1970～1975年卒のOS会に合流して開催された歴史的なOS会でした。1日目、残暑の中、国宝犬山城を見学し、夕刻から船に乗り、夕食と鵜飼を楽しみました。涼しい風を受けながらライトアップした犬山城を背景に、かがり火に照らされた鵜匠と鵜の動きに目を奪われました。翌日は明治村を見学し、流れ解散。次回は来年の10月25日～26日、宇治市で開催します。(文責 佐藤 貞良)



**'81年3月卒第三期  
近直ゼミ同窓会**

開催日 ● 2023年10月8日(日)～9日(月)  
会場 ● 姫路キャッスルグランヴィリオホテル(姫路市)  
参加者 ● 8名

三年ぶり3回目となる「第三期近直ゼミ同窓会」を、10月8日に姫路市にて先生のご参加も賜り8名の参加で開催しました。なんと全員が前期高齢者(笑)。今の高齢者は直子先生を筆頭に元気です。

全員に、先生の昨年出版された本をいただきました。おまけにサイン付き！ありがとうございました！

4時間の同窓会時間設定もまだまだ喋り足りないほどの同窓会となりました。

卒後43年経っても全然変わらぬ「直子節」。益々お元気な先生に元気をいただいた同窓会でした。直子先生お忙しい中、本当にありがとうございました。

(文責 植本 勝廣)



**昭和37年度卒  
社会福祉学部 I 部同期会**

開催日 ● 2023年10月10日(火)  
会場 ● KKRホテル名古屋(名古屋市中)  
参加者 ● 27名

卒業後60年を記念し、第15回昭和37年度卒社会福祉学部I部同期会を令和5年10月10日に名古屋市で開催。北海道や九州からも仲間が26名集まり、昔を振り返る楽しいひと時を過ごしました。我々が入学した昭和34年に伊勢湾台風があり、翌年には安保闘争が始まるなど激動の時代でした。82歳を越した仲間達は元気でしたが、徒然草ではありませんが、「存命」を喜び日々感謝の念を持ち、元気に楽しんで暮らせば良いなということになりました。平和と人権が守られる世の中になる事を念じ、再会を約して散会しました。

(文責 大倉 裕一)



**東京和彦グループ (TKG)**

開催日 ● 2023年10月22日(日)  
会場 ● 東京サテライト&オンライン  
参加者 ● 29名

ついに会員数50名となったTKG！今年も対面&オンラインのハイフレックス同窓会を実施しました。

TKGが主催となり、田中門下の他同窓会メンバーも参加。テーマは「ソーシャルワークとして～日頃のモヤモヤ・ジレンマの分かち合い～」。

グループワークから開始して日頃の活動で感じるモヤモヤ・ジレンマの共有をした後、田中先生によるキートーク。その後、モヤモヤ・ジレンマをソーシャルワークから言語化していくワークを行いました。初対面や今年度入会したメンバーも多く参加していましたが、お互いの悩みに耳とココロを傾けると自然と笑顔が増えていきました。解決はできなくても、安心して語り合える場が必要であることを再確認した時間となりました。

TKGを立ち上げた1期生は卒業6年目を迎え、PSWとしては中堅?といった時期のようです。参加した1期生はドキッとしたのですが(笑)、学びを活かしながら実践を積み重ねつつ、仲間との振り返りを大切にしていきたいと思っています。(文責 鈴木 千鶴)



**児童文化部同窓会  
「BBS赤とんぼの会」**

開催日 ● 2023年11月3日(金)～5日(日)  
会場 ● みやじま社の宿など(廿日市市)  
参加者 ● 12名

1977年度の入学組で、11月に同窓会を開催しました。開催地の広島市では、名物のお好み焼きを賞味、また原爆被災地をガイドさんに案内していただきました。

宿泊は世界遺産の宮島で、厳島神社、大鳥居の荘厳な姿などにも感動いたしました。何よりも、40有余年過ぎても当時の仲間と当時のままの感覚で会って、話せ、しかも一緒に旅行できるのは最高です。

卒業以来という参加者もいましたが、なんの壁もありません。

福祉大時代の、そしてサークル4年間の友は、生涯の友です！

(文責 仕切 友史)



大学院経営領域同窓会

開催日●2023年12月2日(土)  
会場●愛知県青年会館(名古屋市)  
参加者●10名

12月2日、愛知県青年会館において大学院経営領域同窓会を開催しました。同窓会には10名の会員が出席しました。川本一男同窓会会長のあいさつの後、審議事項、2022年度の事業報告、決算報告を行い、全会一致で承認されました。続いて、2023年度事業計画(案)、予算(案)について審議し、いずれも全会一致で可決しました。また、追加役員の選出(案)について、審議の結果、全会一致で新たに1名の幹事を選出しました。同窓会終了後、懇親会を開催しました。

総会に先立って、2023年度の福祉経営研究会が開催され、同窓生の樽松佐一氏より、「日常生活支援総合事業の現状と今後の課題」の研究報告、3人の同窓生による学会参加報告を実施しました。

(文責 岩田 純)



サイクリング部OB会

開催日●2023年11月4日(土)～5日(日)  
会場●彦助荘(美浜町)  
参加者●11名

昨年に引き続きお世話になっている愛知県的美浜町にある「彦助荘」という旅館でOB会を開催しました。

初代から2020年度卒業のOBまで、幅広い年齢層の元部員が集まり、ピンゴ大会や自転車の話などで盛り上がりました。それぞれの近況、これからのOB会、サイクリング部の活動内容の現在と過去などの話をし、過去の合宿やそれぞれの職業の話などを通して、サイクリング部のメンバーは世代関係なく自転車が好きで、人とつながって支えあって生きていることを実感しました。これからも世代を超えた仲間とのつながりや支えていただける環境に感謝し、後輩たちにも受け継いでいきたいです。

(文責 西垣 太矩真)



KOBAZEMI85

開催日●2023年11月24日(金)～25日(土)  
会場●ANAクラウンプラザホテル  
グランコート名古屋(名古屋市)  
参加者●6名

1985年卒業の小林ゼミOB&OGが年に一度、日本のどこかで顔を合わせる集いを11月24日～25日、名古屋市で開きました。全国から集まった7名は名古屋市金山の居酒屋で和気あいあいと酒を酌み交わしてそれぞれの近況を報告しました。私たちは杖中で2年、美浜で2年過ごした学年で還暦を迎えていますがみんな元気でそれぞれの人生を楽しんでいます。

これからも小林先生の教え「人生を楽しもう」を受け継いでゆる～く、このOB会を続けていきます。今回残念ながら都合が悪かった方も次回はぜひ参加してくださいね！(文責 濱口 公史)



小池保子ゼミ合同同窓会

開催日●2023年12月9日(土)～10日(日)  
会場●ホテルリゾネックス那覇など(那覇市)  
参加者●12名

2023年12月9日から10日にかけて、「小池保子ゼミ(Ⅱ部)合同同窓会」を12名の参加者によって沖縄で開催しました。小池先生の予てからの願いであった“沖縄で祈りを捧げたい”という目的を叶えるために、主治医の上林先生に同行していただき、小池先生も東京から参加されました。12月9日の夜はホテルで「懇親会」を開催し、12月10日の午前中はマイクロバスで南部戦跡を巡って、「国立沖縄戦没者墓苑」にも行きました。小池先生とゼミ生が沖縄で一緒できたこと、よい思い出になりました。

(文責 近藤 修司)



CSA映画研究会同窓会

開催日●2023年12月30日(土)  
会場●天串 金山駅前店(名古屋市)  
参加者●6名

CSA映画研究会は1976年開設の経済学部一期生が大学初の自主映画製作・自主上映会を目的として翌年1977年4月に設立したサークルです。2018年から定期的に集いを開催しておりますが、2023年に認定同窓会として承認されました。

今回の集いは12月30日という年末にも関わらず6名が参加し、すっかり酒は弱くはなりましたが会話は衰えずは大いに盛り上がりました。

現在CSA同窓会ではメンバーの消息を探しております。情報をお持ちの方はお知らせください。(文責 井上 隆志)



大学院社会福祉学専攻(通信教育)同窓会

開催日●2023年9月2日(土)  
会場●名古屋キャンパス  
参加者●10名

同窓会総会では、2022年度の事業報告と収支決算、そして2023年度の事業計画と収支予算を承認しました。続いて2025年度総会までの2年間の新しい役員を選出しました。ここ数年、オンライン通信を用いる会員も増えているため、「日本全国に会員がいる」という特徴のある当会の会員間の関わり方を探る必要があるとの意見が出ました。次期の役員会にとって重要課題の1つとなりそうです。午後からは約30名の修士課程1、2年生が加わり、同窓会との合同企画を開催しました。第1部では本学の渡辺崇史先生から、「生活を支援するテクノロジー」と題した講演が行われ、最近の福祉用具や支援機器の動向、IoT やAI の利用、各種の支援機器の活用事例、3D プリンタを使った支援機器作りなどを紹介していただきました。第2部は、東日本国際大学教授であり、2014年度の社会福祉学専攻修了生でもある金成明美先生より、「介護支援ロボットと拓くふくしのミライ」と題した講演が行われ、各種ロボット体験(移動支援ロボット、排泄予測デバイス、介護支援用腰補助アシストスーツ)をさせていただきました。(文責 谷口 法絵)





## 看護学部・看護学研究科『ホームカミングデー』 および『卒業生と在学生の交流会』開催報告

同窓生の皆さま、元気にお過ごしでしょうか。看護学部は2022年度で5期生が卒業する節目を迎えました。大学院へ進学する卒業生も増え、2023年度のホームカミングデーは看護学部と看護学研究科の合同で開催することとしました。8月22日（火）、東海キャンパスには19名の卒業生が来場し、オンラインでは3名が参加、合計22名が交流を楽しみました。

プログラムの前半では看護学部同窓会総会を行い、事業や予算の確認と役員を選任が行われました。後半には交流・座談会「卒業生・修了生集まれ！職場のこと、自分のこと、何でも話そう」へと進行し、各自が近況報告を行いました。卒業間もない5期生からは慣れない臨床現場の体験や、実践での疑問などが話され、教職員・先輩には親身に耳を傾けていただき、元気づけられるコメント・助言をいただきました。毎回、会場を後にする参加者の晴れやかな表情が嬉しく、次回のホームカミングデーにはより多くの卒業生に参加してもらいたいと思います。

また、12月16日（土）には看護学部の就職・進学説明会が行われ、38名の卒業生が22施設から協力参加し、引き続き在學生との交流会も開催されました。前半の説明会で進路への関心を深めた在學生からは就活や仕事に関する様々な質問や相談が寄せられ、卒業生との交流によって貴重な情報が得られたと思います。参加した卒業生同士にとっても交流を深める機会となりました。忙しいなかでもこうした交流の機会を企画し、同窓生の皆さまと元気に歩んでいきたいです。またお会いしましょう！ 看護学部同窓会 会長 森田 篤



## 介護学専攻同窓会ホームカミングデー開催報告

介護学専攻同窓会は2022年度に初めてのホームカミングデーを開催し、卒業後の同窓生の繋がりを深める取り組みを進めています。2023年度は11月25日（土）の午後に半田キャンパスで開催し、参加者は前年度の9名から32名へと増え、手ごたえを感じた1日となりました。

開場直後から参加者のフリートークで交流が始まり、14時に開会してからもアイスブレイクやゲームを取り入れ、久しぶりの再会・初めて顔を合わせた参加者が早く打ち解けることができました。お子さんを連れて参加者もいて、会場の雰囲気が和んでいたことも良かったと思います。また、先生方の参加によって会話や交流はさらに盛り上がり、終了後も先生方との話を続ける姿もありました。



今回は「介護学専攻を卒業して良かったこと、役に立っていること」をテーマとしたグループワークも行い参加者の様々な反応が得られたので、今後の同窓会企画を考える上でも大いに参考になりました。将来的にはホームカミングデーに加えて、研究会などの企画も検討していきます。忙しい日々を送っている同窓生の居場所づくりという役割を、介護学専攻同窓会は果たしていきたいです。2024年度もこの時期、卒業研究発表会当日にホームカミングデーを開催します。ぜひ、半田キャンパスへお越しください！ 介護学専攻同窓会 会長 松原 竜二

卒業後も社会福祉士の合格を目指すなら

# NFUライセンススクール

2023年度は  
のべ2,061人が  
受講！  
※2023年12月下旬現在

社会福祉士国家試験受験対策として「NFU ライセンススクール」を開講しています。短期集中で重要項目や学習のポイントなどを解説し、全国どこからでも受講可能な「オンライン講座 (Zoom)」や、スキマ時間に手軽に学習できる「映像配信講座」など、多くのメニューを用意しています。**新試験に対応しています！**

精神保健福祉士・介護福祉士・ケアマネジャー・保育士 受験対策講座なども開講予定です。2024年度合格を目指す方はホームページをご覧ください。

NFU ライセンススクール (株式会社エヌ・エフ・ユー)

<https://nfuls.nfu.co.jp/>

TEL : 0569-47-6530

e-mail : [nfuls@nfu.co.jp](mailto:nfuls@nfu.co.jp)

お問い合わせ受付時間：月～金 10:00～17:00 (土日祝日・お盆・年末年始等を除く)



# 同窓会開催のお知らせ

イベント内容は日々更新されますので、詳細につきましては同窓会ホームページをご覧ください。

同窓会ホームページがリニューアルしました!



同窓会  
ホームページ



ブロック	ブロック・地域同窓会・認定同窓会	開催日	会場	内容 (講師所属は2024年3月現在のものです)
北海道	北海道地域ブロック	3月23日(土)	オンライン	●卒業を祝う会
	北海道地域同窓会	6月22日(土)	かでの2・7	●総会
	北海道地域ブロック (道南地域同窓会主催)	7月7日(日)	オンライン	●Zoom座談会
	北海道地域ブロック (北海道地域同窓会主催)	11月11日(月)	オンライン	●Zoom座談会
東北	岩手県地域同窓会	3月23日(土)	盛岡地域交流センター マリオス18皆 オンライン併用	●卒業を祝う会&物好き者の集い
	秋田県地域同窓会	3月23日(土)	秋田県総合保健センター第2研修室 オンライン併用	●卒業を祝う会
	青森県地域同窓会	8月24日(土)	青森市内(未定)	●研修会 ●総会 ●懇親会
関東	関東地域ブロック	3月23日(土)	主婦会館プラザエフ	●卒業を祝う会
	千葉県地域同窓会	5月12日(日)	千葉県社会福祉センター	●総会 ●講演会 演題:未定 講師:尾林 和子 先生(福祉経営学部教授)
	神奈川県地域同窓会	5月18日(土)	福祉保健研修交流センター ウィリング横浜	●講演会 演題:社会的孤立と伴走型支援 講師:藤森 克彦 先生(福祉経営学部学部長・教授) ●定例総会
	神奈川県地域同窓会	6月12日(水)	鎌倉市内	●鎌倉散策
	埼玉県地域同窓会	6月22日(土)	未定	●総会 ●記念講演 演題:未定 講師:尾林 和子 先生(福祉経営学部教授)
	群馬県地域同窓会	8月31日(土)	群馬県総合社会福祉センター会議室	●総会 ●講演会 演題:ヤングケアラー～見過ごされた子どもたち～ 講師:野尻 紀恵 先生(学長補佐・社会福祉学部教授) ●懇親会
	神奈川県地域同窓会	11月16日(土)	福祉保健研修交流センター ウィリング横浜	●周年記念共同事業
	北信越	北信越地域ブロック	3月23日(土)	オンライン
東海	静岡県地域同窓会	3月23日(土)	ホテルアソシア静岡	●卒業生を祝う会
	東三河地域同窓会	4月27日(土)	豊橋市民センター(カリオンビル) 会議室	[新卒者と同窓生の交流会] ●名刺交換会・情報交換会 ●懇親会
	東海地域ブロック	5月18日(土)	Link del mar(予定)	[若手交流企画] ●BBQ
	静岡県地域同窓会	5月19日(日)	静岡県総合社会福祉会館シズエル オンライン併用	●文化講演会 演題:未定 講師:カースティ 祖父江 先生 (国際福祉開発学部准教授・日本語教育センター長) ●総会 ●交流会
	三重県地域同窓会	5月19日(日)	ホテルグリーンパーク津2階 みやび	●ブロック交流会
	西三河/碧海地域同窓会	5月25日(土)	香楽新安城本店	[第6回キャッチ同窓会] ●総会 ●懇親会
	東三河地域同窓会	6月22日(土)	穂の国とよはし芸術劇場プラット 研修室(大)	●総会 ●職場報告会 ●懇親会
	名古屋地域同窓会	7月6日(土)	TKPガーデンシティPREMIUM 名古屋新幹線口	●講演会 演題:バラスポーツの魅力～東アジア発「KOBEBE2024世界パラ陸上競技 選手権大会」報告&「パリ2024パラリンピック競技大会」に向けて～(仮) 講師:三井 利仁 先生(スポーツ科学部教授・バラスポーツ研究所所長) ●総会 ●懇親会
近畿	近畿地域ブロック	3月23日(土)	梅田スカイビル	●卒業を祝う会
	兵庫県地域同窓会	5月17日(金)	美浜キャンパス・東海キャンパス	●日本福祉大学キャンパスツアー
	奈良県地域同窓会	6月30日(日)	奈良市内(未定)	●総会 ●公開講演会 演題:(仮)新しい地域福祉のかたち 講師:野口 定久 先生 (佐久大学人間福祉学部長・教授、日本福祉大学名誉教授) ●懇親会
	兵庫県地域同窓会	7月15日(月)	神戸メリケンパーク オリエンタルホテル	[総会・交流会] ●総会 ●記念講演会(講師未定) ●同窓生実践報告 ●交流会あり(希望者のみ)
中国	中国地域ブロック	3月23日(土)	NPD貸会議室 岡山駅前 オンライン併用	●卒業を祝う会
四国	四国地域ブロック	3月24日(日)	高松東急REIホテル オンライン併用	●卒業を祝う会
	徳島県地域同窓会	5月12日(日)	徳島グランビリオホテル	●総会 ●講演会 演題:社会福祉実践に求められるもの ～日本福祉大学の歴史に学ぶ(仮) 講師:明星 智美 先生(福祉経営学部准教授) ●懇親会
	高知県地域同窓会	7月15日(月)	高知会館	●高知県地域同窓会の集い ●講演会 演題:相模原障害者殺傷事件から学ぶ 一生生きるに値する命と生きるに値しない命についてー 講師:藤井 渉 先生(社会福祉学部准教授)
九州 沖縄	九州・沖縄地域ブロック	3月24日(日)	メイン会場:福岡オフィス ライブビューイング会場: GRGホテル那覇東町 オンライン併用	●卒業を祝う会
	大分県地域同窓会	3月30日(土)	炙り屋にわか	●交流会 ●懇親会
	宮城県地域同窓会	8月3日(土)	ホテルメリージュ宮崎	●総会 ●懇親会

地域同窓会事業は、お住まいの地域に関わらず、ご自由に参加いただけますが、一部制限させていただく場合もあります。皆さまのご参加をお待ちしています。

新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、内容等の変更または延期・中止となる場合がございます。

7月	1(土)	東京地域同窓会 総会&新入生歓迎会(対面)	
	1(土)	高知県地域同窓会 2023年度高知県地域同窓会の集い(対面)	
	1(土)	第1回近畿地域ブロック代表者会議(対面)	
	1(土)	国際開発同窓会 ホームカミングデー&2022年度退職教員謝恩会(対面)	
	8(土)	鹿児島地域同窓会 ふくし学習会・総会・懇親会(オンライン併用)	
	8(土)	神奈川県地域同窓会 通信教育学生との相談・交流会(対面)	
	8(土)	<b>第1回常任理事会</b>	
	9(日)・10(月)	ワンダーフォーゲル部同窓会 同窓会	
	13(木)	北海道地域ブロック Zoom交流会①(オンライン)	
	15(土)	<b>第1回理事会</b>	
	16(日)	アメリカンフットボール部同窓会(対面)	
	17(月)	兵庫県地域同窓会 総会・記念講演会・同窓生実践報告(対面)	
	22(土)	名古屋地域同窓会 名古屋地域同窓生の集い(対面)	
	22(土)	山形県地域同窓会 総会(対面)	
	22(土)・23(日)	石川県地域同窓会 通信教育部スクーリング公開講座(対面)	
	29(土)	第1回関東地域ブロック代表者会議(対面)	
	29(土)	PSW-net 夏の実践報告会(対面)	
	30(日)	第1回東海地域ブロック代表者会議(対面)	
	8月	5(土)	宮崎県地域同窓会 総会・懇親会(対面)
		6(日)	第1回北海道地域ブロック代表者会議(対面)
		6(日)	富山県地域同窓会 座談会「しゃべり場」(対面)
		11(金)	福岡県地域同窓会+認定 福岡地域役員と県内認定同窓会合同ミーティング(対面)
		13(日)	静岡県地域同窓会 60周年記念プロジェクト 報告書を読み解き、語り合う会(対面)
		18(金)	福井県地域同窓会 総会(書面議決)
		19(土)	東京地域同窓会 尾林ゼミコラボ企画「コラボ学習会」(オンライン併用)
		22(火)	看護学部同窓会 ホームカミングデー&看護学部同窓会(オンライン併用)
		26(土)・27(日)	東京地域同窓会 スクーリング公開講義・交流懇親会(対面)
26(土)		群馬県地域同窓会 研修会・総会・懇親会(対面)	
26(土)		第1回九州・沖縄地域ブロック代表者会議(対面)	
27(日)		第1回中国地域ブロック代表者会議(オンライン併用)	
27(日)		西三河/豊田・岡崎地域同窓会 総会および卒業を祝う会(対面)	
27(日)		香川県地域同窓会 総会・学習交流会(オンライン併用)	
9月		2(土)	静岡県地域同窓会 交流会・60周年記念プロジェクト 報告書を読み解き、語り合う会(対面)
		2(土)・3(日)	鳥取県地域同窓会 R5日本福祉大学キャンパスツアー(対面)
		2(土)	青森県地域同窓会 総会・講演会・懇親会(対面)
	2(土)	大学院社会福祉学専攻<通信教育>同窓会 総会(対面)	
	3(日)	岩手県地域同窓会 総会(対面)	
	9(土)	神奈川県地域同窓会 暑気払い(対面)	
	9(土)	沖縄県地域同窓会 総会(対面)	
	9(土)	増山ゼミ同窓会 同窓会(対面)	
	10(日)	第1回四国地域ブロック代表者会議(オンライン併用)	
	12(火)・13(水)	昭和46年度卒大泉ゼミナール 同窓会(対面)	
	13(水)	神奈川県地域同窓会 事業所見学(対面)	
	16(土)	岡山県地域同窓会 60周年記念プロジェクト 報告書を読み解き、語り合う会(対面)	
	17(日)	香川県地域同窓会 60周年記念プロジェクト 報告書を読み解き、語り合う会(対面)	
	23(土)	東海地域ブロック 東海4県教職員「岐阜の集い」(オンライン併用)	
	23(土)	原田ゼミ同窓会 同窓会(対面)	
	23(土)	大学院16の会 同窓会(対面)	
	23(土)	訓覇スウェーデンセミナー同窓会 同窓会(対面)	
	23(土)	知多地域同窓会 市民公開講座・総会(オンライン併用)	
	23(土)	石川県地域同窓会 総会・講演会・交流会(対面)	
23(土)	東京地域同窓会 コスモスマツリでBBQ交流会(対面)		
29(金)	ヤジエセツルOS会&同(45-50)会 合同同窓会(対面)		

9月	30(土)	第1回東北地域ブロック代表者会議(対面)
	30(土)	岡山県地域同窓会 第6回国立療養所「長島愛生園」見学クルーズ(対面)
10月	1(日)	第1回北信越地域ブロック代表者会議(対面)
	7(土)・8(日)	全国BC 2023年度 ふくし学習会オンラインセミナー(オンライン)
	8(日)・9(月)	第三期近直ゼミ同窓会(対面)
	9(月)	岡山県地域同窓会 総会・講演会(オンライン併用)
	10(火)	昭和37年度卒社会福祉学部I部同期会 同窓会(対面)
	12(木)	西三河/豊田・岡崎地域同窓会『第5回地域共生社会 推進全国サミットinとよた』応援参加・懇親会(対面)
	14(土)	三重県地域同窓会 講演会・総会・交流会(対面)
	14(土)	和歌山県地域同窓会 公開講座・総会・懇親会(対面)
	14(土)	社会福祉セミナー in東京(オンライン併用)
	15(日)	岐阜県地域同窓会 総会(オンライン併用)
	21(土)	西三河/碧海地域同窓会 知立の集い(対面)
	21(土)	富山県地域同窓会 臨床美術体験会&総会・懇親会(対面)
	21(土)	福岡県地域同窓会 学習会&総会&交流会(オンライン併用)
	21(土)・22(日)	岡山県地域同窓会 通信教育部スクーリング公開講座(対面)
	22(日)	埼玉県地域同窓会 川越散策(対面)
	22(日)	東京和彦グループ(TKG)(オンライン併用)
	25(水)	高知県地域同窓会 天狗高原への旅(対面)
28(土)	佐賀県地域同窓会 学習会・総会・懇親会(対面)	
28(土)	福島県地域同窓会 総会(対面)	
28(土)	道南地域同窓会 総会・懇親会(対面)	
28(土)	長野県地域同窓会 犀川スキーバス事故慰霊碑清掃(対面)	
29(日)	名古屋地域同窓会 温故知新 学園発祥の地をめぐる秋のハイキング(対面)	
11月	1(水)	知多地域同窓会 食生活応援プロジェクト(対面)
	3(金)	BBS赤とんぼの会(対面)
	4(土)	サイクリング部OB会(対面)
	5(日)	千葉県地域同窓会 柴又散策(対面)
	10(金)・11(土)	未申会 懇親会(対面)
	11(土)	北海道地域ブロック Zoom交流会②(オンライン)
	11(土)	滋賀県地域同窓会 総会・講演会・懇親会(対面)
	11(土)	経済学部同窓会 業界研究セミナー・総会(対面)
	11(土)	大阪地域同窓会 児玉善郎前学長との交流企画(対面)
	12(日)	福井県地域同窓会 福井県内の名所を巡ろう(対面)
	18(土)	<b>第2回常任理事会</b>
	18(土)	兵庫県地域同窓会 通信教育学部生情報交換会「ゆるつな」(オンライン併用)
	18(土)・19(日)	全国BC2023年度ふくし学習会オンラインセミナー(オンライン)
	24(金)・25(土)	KOBAZEMIB5 同窓会(対面)
	25(土)	北尾張・西尾張地域同窓会 総会とつどい(対面)
	25(土)	東京地域同窓会 通信教育部在学生の相談・交流会(対面)
	25(土)	介護学専攻同窓会 ホームカミングデー(対面)
25(土)	北海道地域同窓会 道東4地区同窓会(対面)	
28(火)	神奈川県地域同窓会 鎌倉散策(対面)	
12月	2(土)	<b>第2回理事会</b>
	2(土)	大学院経営領域同窓会 同窓会(対面)
	2(土)	福岡県地域同窓会 北九州で仲間づくり交流会(対面)
	9(土)	<b>交流サロン クリスマスコンサート(対面)</b>
	9(土)	小池保子ゼミ合同同窓会 同窓会(対面)
	10(日)	広島県地域同窓会 50周年記念誌発行記念講演会(対面)
	16(土)	看護学部同窓会 看護学部卒業生・在学生交流会(対面)
30(土)	CSA映画研究会同窓会 同窓会(対面)	
1月	13(土)	学部・学科等同窓会代表者連絡会議(オンライン併用)
	13(土)	埼玉県地域同窓会 新春新年会
	20(土)	高知県地域同窓会 第8回新年会(対面)
	20(土)	山口県地域同窓会 山口県地域同窓生の集い(オンライン併用)
	27(土)	富山県地域同窓会 座談会「しゃべり場」(オンライン)
	27(土)	第2回関東地域ブロック代表者会議(対面)



設立70周年・悠久の未来へ ~新たに築く母校の誇り~

# 「夢・知恵・元気を育むヒューマン・ネットワーク同窓会」の輪で繋がりましょう!!

1955年3月18日に中部社会事業短期大学卒業生67名が参加して設立された日本福祉大学同窓会。今日では会員数10万名を超え、57地域同窓会、300ものクラス・ゼミ・職場等の同窓会を擁するまでに発展してきました。

この流れを汲み、会員の皆さまが設立70周年を契機としてさらに多くの会員と繋がり、同窓会悠久の未来へ向かって歩みを刻みましょう。

## 記念事業フレーム

● クラス・ゼミ・職場・業種別・同一資格取得者などで繋がる集いを開催しましょう。

参加費の助成

「同窓会設立70周年記念事業」と明記した同窓会企画に対して、同窓会員の参加1名につき1,000円を助成(加算)します。\*活動交付金申請の際に所定用紙にて提出

予告

2025年11月2日(日)、東海キャンパスと東海市芸術劇場を会場として「大同窓会」を開催します!

また前日、11月1日(土)の美浜キャンパス福祉大学祭にて「大同窓会前夜祭」も開催!(キャンプファイヤーも計画中)

参加費の助成

この大同窓会への団体参加(要事前登録・申込)も、同窓会員の参加1名につき1,000円を助成します。

記念すべき大同窓会を、皆さまのご参加により大成功へ導きましょう!



● 団体参加による企画(予定)

地域同窓会

同期・職種・グループ等の認定同窓会

学部・学科等同窓会

ネットワークの新規結成

記念講演会

物販・寄付のコーナー

懇親会  
(立食パーティ等)

地域や市民のコーナー

キャンパス見学

\*2024年度に団体参加申込の受付を開始します。詳しくは同窓会ホームページにてご案内します。

● 業種・職種別ネットワークを作いませんか?

ご希望の方は、同窓会本部事務局までご連絡ください。

団体参加  
申込フォームは  
コチラ▶



● 全国の地域で「設立70周年記念地域同窓会」を開催しましょう。

詳細が決まりましたら順次、同窓会報・ホームページなどでご案内します。

このほか、会員の思い出を紡ぐ「アーカイブ事業」など計画中です。詳細が決まり次第、同窓会会報・ホームページなどでご案内します。

## 若手同窓生で繋がろう! 若手交流のBBQ企画を開催します

こんにちは、同窓会の若手交流事業委員会です。この委員会では、若手同窓会員の交流企画を通じて、皆さまに有意義な仲間づくり、同窓会活動を楽しんでいただけるよう、BBQパーティを開催します。新しい仲間や繋がりのための個人参加はもちろん、友人や同窓生グループの懇親会としてお申込みいただいても大歓迎です。

開催日時 **2024年5月18日(土)**  
11:00~14:00

会場 **Link del mar** 常滑市りんくう町2丁目37番地  
名鉄「りんくう常滑」駅から徒歩13分

参加費 **500円**

参加条件 **40歳未満の同窓会員であること**  
(会場までの交通手段・費用は自己負担をお願いします)

申込 **3月下旬から同窓会ホームページにて募集を開始します。**  
個人・グループいずれでも申し込みが可能です。  
興味のある方は同窓会事務局までお問い合わせください。

## 〈これからの社協の未来を語る～地域福祉実践を踏まえて～〉

### 「2023年度(認定同窓会)社会福祉協議会職員同窓会セミナー」開催報告

去る、2023年11月18日(土)、日本福祉大学東海キャンパスにおいて、社協職員同窓会セミナーを開催しました。今回のセミナーは学校法人日本福祉大学学園創立70周年記念事業の一環として、日本福祉大学と共催で行われました。参加者は会場:48名、オンライン:72名、合計120名の参加申込みをいただき開催しました。

2023年は社協法制化40周年にあたり、「これからの社協の未来を語る～地域福祉実践を踏まえて～」をテーマに、社協の歴史と意義、これからの社協へ期待や課題等について、講演、対談、シンポジウム、名刺交換会等を行いました。

講演では、元全国社会福祉協議会事務局長で、現在、ルーテル学院大学名誉教授の和田敏明先生から「市町村社協法制化40周年、これからの社協を考える」をテーマに、市町村社協の法制化の背景と経緯、社協が取り組んできた地域福祉実践、これからの社協への期待等について講演されました。とりわけ、国民的運動により市町村法制化が実現された経緯や「住民主体原則」が生まれる背景となった住民活動等について、史実に基づいた内容で次の時代に引き継がなければならない貴重な内容となりました。また、「社協は地域福祉推進のため、皆と一緒に汗を流す組織」と語られ、地域共生社会づくりに果たす社協の役割とも重なり、これからの社協のあるべき姿を示唆されました。

次に、講演を受けて和田先生と日本福祉大学学長の原田正樹先生による対談が行われました。対談では、社協と共同募金との関係、住民主体について、地域福祉プラットフォームの意義等について、歴史的な出来事や意義について



て明らかにしていただきました。

続いて、セミナーのテーマを踏まえ、地域共生社会の実現に向けた地域福祉の実践と社協の役割について、最前線で活躍されている4名の同窓生(知多市社協 河村さん、東海村社協 古市さん、都城市社協 大田さん、山口県社協 大倉さん)によるシンポジウムが行われ、これからの社協の役割を考えるうえで、特に重要となる課題について討論していただきました。

河村さんからは、ボランティア・福祉教育の地域福祉実践を踏まえ、これからの地域福祉における社協の役割について報告されました。古市さんからは、包括的な支援体制の構築に向けた、今後の社協の相談支援の意義について報告されました。大田さんからは、地域福祉経営を視野に入れた、これからの市社協のビジョンについて報告されました。大倉さんからは、山口県社協が進める中期経営ビジョンから、地域共生社会の実現に向けた県社協の役割について報告されました。

討論では、「未来の社協」に残すべき課題について討論しました。1点目は住民主体と社協の役割、2点目は地域福祉プラットフォームと社協の役割、3点目は地域共生社会における社協の専門性について、それぞれの実践を踏まえた意見が出されました。最後に、コメンテーターの和田先生から「各地で進行している深刻な地域生活課題に対して、地域で唯一の地域福祉の推進組織として役割を發揮することが求められている」とまとめの助言をいただきました。

最後に、日本福祉大学の4名の先生方(野口先生、川島先生、渋谷先生、平野先生)から「これからの社協への期待」と題してリレメッセージをいただき、セミナーを終りました。

開催をご支援いただいた大学・同窓会関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

本同窓会では、今後も、オンライン等による総会・セミナーを開催する予定にしています。

多くの社協職員・OBの方々のご参加をお待ちしています。

(文責:山崎 睦男)

### 「2023年度ふくし学習会オンラインセミナー」開催報告

地域ブロックセンターでは、昨年度に引き続き、同窓生・後援会会員を対象とした「ふくし学習会オンラインセミナー」を開催しました。全4講座で延べ788名(申込1,187名)の同窓生・後援会員がオンラインで参加しました。

日程	講演テーマ	講師	参加者
10月7日(土)	性暴力被害対応におけるフォレンジック看護の役割 ～周トラウマ期反応とポリヴェーガル理論の臨床応用～	福祉社会開発研究所 長江 美代子 先生	87名
10月8日(日)	困った性格の人のつきあい方 ～パーソナリティ障害を理解する～	教育・心理学部 早川 すみ江 教授	301名
11月18日(土)	アディクションの理解とかわり ～ソーシャルワークの視点から～	福祉経営学部 田中 和彦 准教授	222名
11月19日(日)	発達に気になる子どもと遊び ～こころを育むかわりとは～	教育・心理学部 堀 美和子 准教授	178名

なお、オンラインセミナーに関しては、「卒業してからも学べる機会があるというのは大変貴重です。」「日本福祉大学ならではの多彩な内容の講演が聞けて良かったです。」といった好意的な感想がたくさん寄せられました。



## 興味のある科目を1科目から学べる 「科目等履修生」

※日本福祉大学卒業生は、学費減免制度の対象です（選考料と入学金が無料）

職場や家庭における課題を解決するために「学び直し」のニーズが増えています。日本福祉大学通信教育部では、興味のある科目を1科目から学ぶことが可能。以下に、科目等履修生で資格取得ができるおすすめのカリキュラムをご紹介します。詳しくは「日本福祉大学通信教育部」ホームページをご覧ください。

こころの理解を深め、職場や家庭での支援に活かす

### 認定心理士 カリキュラムスタート

2024年度より認定心理士資格対応科目を開講\*します  
\*カリキュラム申請中。2024~2025年度の2年間に分けて開講予定

認定心理士とは、「心理学の専門家として仕事をするために必要な最小限の標準的基礎学力と技術を修得している」と公益社団法人日本心理学会が認定する資格です。大学で資格対応科目を修得した後、日本心理学会に申請することで取得ができます。

こころの働きの現れである「行動・言動」や「無意識」、「発達・検査」に関することまで幅広く心理学を学ぶため、職場や家庭での心理的ケアや寄り添った支援が必要な方に人気です。詳しくは「日本福祉大学通信教育部 認定心理士」ページ（右記）をご確認ください。



#### ●2024年度 開講科目

発達心理学、高齢者の心理、知覚心理学、産業組織心理学、教育心理学概論、心理学、心理学研究法、心理検査法

#### ●2025年度 開講科目

認知心理学、学校心理学、発達臨床心理学、福祉心理学、臨床心理学、司法・犯罪心理学、教育相談、消費者心理学、社会心理学、心理学実験

生活と仕事に役立つ金融リテラシーを

## AFP/FP2級

金融リテラシーはビジネスにおける身につけておくべき3種の神器の1つ



日本福祉大学通信教育部は、【AFP認定研修】の特別認定教育機関！期間内に8科目を修得するだけで、AFP受検資格を取得することができます

#### ●開講科目

ファイナンシャルプランニング総論、ライフプランニングと資金計画、タックスプランニング、リスク管理と保険、金融資産運用設計、不動産運用設計、相続・事業承継設計、ファイナンシャルプラン作成

【AFP認定研修】は、試験合格に導くオリジナルテキストを使用。  
通学不要！全国どこからでも学べます。

2025年度

# 同窓会・提携団体等推薦入学試験

## 【同窓会推薦型】のご案内 (通学課程)

### 同窓会・提携団体等推薦入学試験【同窓会推薦型】とは…

日本福祉大学同窓会は、“ふくし”のさらなる発展とその実現に寄与し、卒業後は本学同窓会活動に協力できる方のための「同窓会・提携団体等推薦入学試験【同窓会推薦型】」を用意しています (同窓会員の親族の有無は問いません)。

入学後は、地域オフィス・サテライトとともに、地域同窓会 (全都道府県に設置) が、オンライン面談等も活用して学生生活、Uターン就職活動をバックアップします。また、4年間を通して半期ごとに30,000円の学生生活支援金を交付します (年間60,000円、在学期間中最大240,000円)。

本入学試験に関心をお持ちの方は推薦を受けるために、**2024年7月21日(日) 必着まで**に提出していただく書類 (志望動機書) があります。間に合うように余裕をもって、相談受付窓口 (下記) までご連絡をお願いいたします。

### 2025年度同窓会・提携団体等推薦入学試験【同窓会推薦型】概要

#### ◆ 募集定員

全学部・学科・専攻・専修・コースとも 若干名

#### ◆ 出願期間

インターネット出願登録期間

2024年9月22日(日)午前9時～10月4日(金)午前10時まで  
入学検定料払い込み期限/10月4日(金)午後1時まで  
出願書類提出期限/10月6日(日)午後5時必着

#### ◆ 試験日・試験会場

2024年10月20日(日)  
日本福祉大学 東海キャンパス

#### ◆ 試験内容

書類審査・プレゼンテーションおよび面接 (200点満点)  
※面接冒頭に提出書類の内容を2分程度で説明していただきます (プレゼンテーション)。  
プレゼンテーションについては面接者より指示があります。

#### ◆ 出願資格

次のすべてを満たす者

- 学校教育法第1条で定める高等学校を2025年3月卒業見込みの者 (中等教育学校、特別支援学校の高等部卒業見込みまたは高等専門学校3年次終了見込みを含む) で、人物および学力ともに優れ、本学で積極的に学ぶ意欲を有する者
- 本学を専願とする者 (合格者は必ず入学していただきます)
- 出願時の全体の評定平均値が以下の基準を満たしている者
 

社会福祉学部	3.2以上
教育・心理学部 (こども学科)	3.0以上
教育・心理学部 (学校教育学科)	3.2以上
教育・心理学部 (心理学科)	3.2以上
スポーツ科学部	3.2以上
健康科学部 (リハビリテーション学科)	3.5以上
工学部 (工学科)	3.2以上
経済学部	3.0以上
国際学部	3.0以上
看護学部	3.8以上
- 日本福祉大学同窓会より推薦を受けた者

◆ 検定料 5,000円 ※同窓会推薦入試入学検定料減額措置制度による

### 相談受付窓口

▼地域オフィス・サテライトの詳細はコチラ



地域ブロック	都道府県名	オフィス・サテライト名	TEL
北海道	北海道	◆名古屋オフィス	052-242-3045
東北	青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	◆山形最上オフィス	0233-43-9232
関東	茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨	◆東京サテライト	03-5220-2825
北信越	新潟・富山・石川・福井	◆富山オフィス	076-431-2027
	長野	◆松本オフィス	0263-31-9011
東海	岐阜・愛知・三重・静岡	◆名古屋オフィス	052-242-3045
近畿	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山		
中国	鳥取・島根・岡山・広島・山口	◆大阪サテライト	06-6468-2400
四国	徳島・香川・愛媛・高知		
九州・沖縄	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	◆福岡オフィス	092-737-7108

他にも、

**第3学年同窓会推薦編転入学試験【前期日程・10月20日(日)】【後期日程・2月8日(土)】も実施します。**

詳細は入学広報課へお問い合わせください。

受験生サイトはコチラ ▶





# 学園創立70周年事業トピックス

学園創立70周年を迎え、2025年度末までの周年事業期間中、さまざまな事業・イベントを実施してまいります。



集合写真(左側が本学)

## 日本福祉大学×日本体育大学 硬式野球部招待試合実施

2023年11月25日(土)、ナゴヤ球場に日本体育大学硬式野球部をお招きし、招待試合が行われました。当日は快晴のもと、保護者、卒業生、関係者等約400人来場いただきました。結果は2-3で残念ながら敗れましたが、白熱した試合となりました。「敢闘賞」に本学の山田夢大さん(経済学部)が選出されました。



ラジオドラマ

## さいしょの一步 ～浅賀ふさ物語～

知多半島が生んだ日本初の医療ソーシャルワーカー

さいしょの一步  
～浅賀ふさ物語～  
特設サイトはこちら



昭和初期日本初の医療ソーシャルワーカーとして活躍し、本学創設時より21年間教鞭をとられた浅賀ふさ先生。その激動の生涯が、ラジオドラマになりました。2023年12月に4週にわたってCBCラジオで放送。ドラマは、本学に赴任され教育者として歩まれた先生が、自分の人生を幼少期から振り返る形でストーリーが進みます。先生を演じるのは竹下景子さん。学園創立者鈴木修学先生役の近藤芳正さんは、本学付属高等学校の出身です。現在全4話をYouTubeで配信しています。(2025年1月迄)本学特設サイトからご視聴ください。

## 「ダストボックスデザインコンテスト」で選ばれた5作品が、中部国際空港(セントレア)に飾られています!

本学はこれまでも中部国際空港(セントレア)のごみ箱(ダストボックス)に、大学名が入ったラッピング広告を掲載してきました。2023年度は、学園創立70周年を記念してデザインを公募することとし、『ダストボックスデザインコンテスト』を開催。全国各地から91点の作品が寄せられ、5作品が選出されました。10月下旬より新たな装いのダストボックスが配置されています。お立ち寄りの際には、是非ご覧ください。



### お知らせ

### 学園創立70周年記念式典・シンポジウムのご案内

2024年6月22日(土)午後、名古屋観光ホテルにおいて学園創立70周年記念式典とシンポジウムを開催いたします。詳細は4月上旬にHPでお知らせいたします。

# 学園創立70周年記念事業推進のために皆様のご支援をお願いいたします

## 事業期間

2023年(令和5年)4月1日～2026年(令和8年)3月31日の3年間

## 事業概要

1 「Well-being for All」をめざす社会実装型  
キャンパス創造と環境整備



2 挑む次世代育成のための教育・研究の推進



3 生涯学び続ける社会に対応したリカレント教育の充実



4 歴史から未来の指標を探る  
～建学の精神と学園の歴史継承事業～



5 式典等の実施



事業概要の詳細はこちら



## 募金概要

1 名称「学園創立70周年記念事業募金」

- ・日本福祉大学大学院
- ・日本福祉大学
- ・日本福祉大学中央福祉専門学校
- ・日本福祉大学付属高等学校
- ・日本福祉大学付属クリニックさくら

2 募集期間

2023年(令和5年)4月1日  
～2026年(令和8年)3月31日

3 目標額

5億円

4 募金の種類

個人様:1口1万円  
法人・団体様:1口10万円  
※複数口のご協力をお願いいたします。なお、1口に満たないご寄付もありがたくお受けします。

5 寄付者様への返礼

顕彰および芳名録等への記載、記念品贈呈

6 申込方法

インターネット(クレジットカード、コンビニ決済、Pay-easy)、または振込用紙での申込

学園創立70周年記念事業募金サイトでご確認ください。



募金についてのお問い合わせはこちらまで

〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田  
[MAIL] keiri@ml.n.fukushi.ac.jp  
[TEL] 0569-87-2215(経理課)

# ふるさと納税制度による日本福祉大学への支援について

## 美浜キャンパス 2023年4月1日よりスタート

美浜キャンパスのある愛知県美浜町のふるさと納税を通じて、日本福祉大学へご支援いただくことが可能となりました。美浜町へのふるさと納税による寄付金は、受付期間(2023年4月～2024年3月)終了後に、寄付金の3割を目途に日本福祉大学へ支援金として交付されます。日本福祉大学の発展および学生・生徒への支援のため、美浜町へのふるさと納税を通じた本学へのご支援を、是非ともよろしくお願いいたします。

寄付者の皆様

愛知県美浜町

日本福祉大学



STEP 1  
ふるさと納税による美浜町への寄付

○日本福祉大学への支援を選択  
「大学応援!～日本福祉大学70周年記念事業」



STEP 2  
寄付の受領



STEP 3  
支援金の受領(翌年度)

○美浜町より翌年度支援金として日本福祉大学に交付されます。

美浜町ふるさと納税はこちら



## 名古屋キャンパス 2023年10月2日よりスタート

名古屋市が実施するふるさと納税の仕組みを活用した「学生タウンなごや推進寄附金」を通じて、日本福祉大学へご支援いただくことが可能となりました。名古屋市にふるさと納税をしていただく際に、「日本福祉大学」を指定していただくと本学へのご支援となり、寄附金額の7割が本学が実施する地域貢献事業で有効活用されます。日本福祉大学の地域貢献事業支援のため、学生タウンなごや推進寄附金を通じた本学へのご支援を、是非ともよろしくお願いいたします。

寄附者の皆様

名古屋市

大学



STEP 1  
支援したい大学を指定

ふるさと納税によるご寄附



STEP 2  
寄附金の一部を事務経費や学生生活支援事業に充当

最大で寄附額の7割  
指定大学へ補助金として交付



STEP 3  
地域貢献事業を実施(補助金を活用)

学生タウン  
なごや推進寄附金はこちら



ふるさと納税とは?

地方(ふるさと)に対して貢献又は応援したいという納税者の想いを実現するため、応援したい自治体への寄付を通じてその寄付額の2,000円(適用下限額)を超える部分を居住地の住民税などから控除できる制度です。



日本福祉大学 履修証明プログラム

# 学校福祉2024

教育、福祉、心理の視点から子どもと学校が抱える福祉的課題に  
総合的にアプローチできる専門性を養います

チーム学校を  
進めるための仲間づくり

## こんな方に

- 学校の教員（養護教諭、司書教諭を含む）、指導主事
- 教職経験者
- スクールソーシャルワーカー
- 社会福祉協議会
- 行政などの職員の方 など
- 学校支援関係者
- スクールカウンセラー
- 地域包括支援センター

本プログラムに興味があるすべての方



貧困・虐待・不登校・いじめ・暴力・発達障害をはじめとするさまざまな生きづらさを抱えた子どもたちを支援するために、  
スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの養成と学校への配置、教師を含めた多職種連携（チーム学校）が進められてきました。

とはいえ、子どもたちを支援する専門職者はまだ十分ではありません。

そこで日本福祉大学では、子ども支援関係の仕事に従事していたり、その意志のある人たちを対象として、教育・福祉・心理にかかわる  
基礎的かつ実践的な知見やスキルを身につけてもらうため「履修証明プログラム学校福祉2024」を開講します。

**申込期間** 2024年4月15日(月)～5月12日(日) 必着

受講料 48,000円(税込)

定員 80名

形式 オンデマンド配信 + 会場集合型

会場 JR・地下鉄「鶴舞駅(名古屋市)」 付近  
(演習のみ)



講座の詳細は  
こちらをご確認ください

## 学校福祉2024オンデマンド配信版

2,000円(税込) / 1コマ(85～120分)

※オンデマンド配信のみを受講いただくこともできます。  
その場合は、履修証明プログラムの視聴期間とは異なりますのでご注意ください。



問い合わせ連絡先

日本福祉大学リカレント教育事業部企画事業室

〒460-0012 名古屋市中区千代田5-22-35

TEL 052-242-3069 FAX 052-242-3020  
(受付時間：平日10時～17時)

E-mail recurrent@ml.n-fukushi.ac.jp

形式	日程	タイトル	学習内容	担当	
オンライン配信（1コマ85～120分）	6月1日(土) ～ 7月31日(水)	【特別対談】 権利主体としての子どもをどう育てるか	教育福祉論の水脈をたどる	高橋 正教／鈴木 庸裕 ／山本 敏郎	
		いまなぜ学校福祉なのか	学校の持つ福祉的機能の内発的発展	鈴木 庸裕	
		教育と福祉をつなぐ(1)	福祉に内在する教育的機能	高橋 正教	
		教育と福祉をつなぐ(2)	社会的養育の今日的課題	遠藤 由美	
		生きづらさの窓を開く(1)	学校から排除された子どもたち－教育職から見た子どもの苦悩－	丹下 加代子	
		21世紀教育改革の諸相と真相	ゼロトレ、PDCA、学校スタンダードを問う	藤井 啓之	
		教育観・子ども観の転換と学校制度	生活主体としての子ども、学校改革の新しい動向	山本 敏郎	
		子どもの声を聴くということ	子どもの声が聞こえてくるように聴く	鎌倉 博	
		子どもの育ちを支える文化	命輝く瞬間を仲間とともに	南 寿樹	
		生きづらさの窓を開く(2)	非行をする少年の現状、子どもの人権擁護	湯原 悦子／渋谷 幸靖	
		非行・問題行動の克服支援	貧困・虐待－家庭から排除された子どもたち－	木村 隆夫	
		子どもと地域福祉	福祉教育が支える主体形成	小林 洋司	
		子どもの権利と学校	子どもの権利が息づく学校にする	間宮 静香	
		生きづらさの窓を開く(3)	発達障害を抱えた子どもをもつ親として	NPO法人 アスペ・エルデの会	
		医療から見える学校と子ども	発達障害を抱えた子どもにとっての発達環境	牧 真吉	
		相談室から見える学校と子ども	発達障害を抱えた子どもと学校適応	堀 美和子	
		子どもとともに生きる－保育専門職	他職種との連携を活かして	平松 知子	
		子どもとともに生きる－小学校教諭	他職種との連携を活かして	板垣 賢二	
		子どもとともに生きる－特別支援学校教諭	他職種との連携を活かして	大宮 とも子	
		子ども・家族支援と多職種連携	心理職固有のアセスメント	瀬地山 葉矢	
個別支援と多職種連携	福祉職固有のアセスメント	杉原 里子			
多職種連携の現状と課題	チーム医療からの提案	藤井 博之			
形式	日程	時間	タイトル	学習内容	担当
会場集合型	8月3日(土)	10:00-12:00	学校福祉援助演習(1)	個人援助技法の基礎	野尻 紀恵
		13:00-15:00	学校福祉援助演習(2)	エコマップ、生育歴が気づきをつなぐ	沖田 昌紀
		15:15-17:15	学校福祉援助演習(3)	学校アセスメント・地域アセスメントの進め方	野尻 紀恵
		17:30	終了		
	8月31日(土)	10:00-12:00	教育実践演習(1)	実践記録を読む	山本 敏郎／藤井 啓之 ／鎌倉 博
		13:00-15:00	教育実践演習(2)	実践記録を書く	
		15:15-17:15	教育実践演習(3)	実践記録を分析する	
		17:30	終了		
	9月1日(日)	10:00-12:00	学校心理演習(1)	乳幼児期からの心理発達の理解を活かした支援	瀬地山 葉矢
		13:00-15:00	学校心理演習(2)	心理職と福祉職の「かさなり」を考える	鈴木 庸裕／土井 裕貴 ／服部 浩之
		15:15-17:15	子どもの権利条約の意義と課題	【特別講演】競争的教育環境と専門職	増山 均
		17:30	終了		
	9月14日(土)	10:00-12:00	学校福祉演習(1)	実践研究報告会(1)	鈴木 庸裕／山本 敏郎
		13:00-15:00	学校福祉演習(2)	実践研究報告会(2)	
		15:15-17:15	総括討論	【シンポジウム】学校福祉のための多職種協働	
		17:30	終了		

※学習内容、担当講師等はやむを得ない事情により変更する場合がございます

## 「履修証明制度」とは？

社会人などを対象とした新しい履修・学習の証明制度です。2007年度の学校教育法改正によって誕生した制度で、大学などが一定のまとまりのある学習プログラム（履修証明プログラム）を開設し、修了者に対して、法に基づく履修証明書（Certificate）を交付する制度です（文部科学省ホームページより）。本学が指定する科目群を履修することで、特定分野の学習を体系的に行ったことが認証されます。

**当プログラムの** ● 全講座を受講し、実践研究報告会で報告すること  
**修了要件** ● 修了試験（学校福祉にかかわる論述）を受験し、合格すること  
**修了証** 修了要件を満たした方には、学校教育法に基づく履修証明制度により、日本福祉大学より「履修証明書（学校福祉）」を授与します。  
 ※日本福祉大学による単位認定はありません。



第10回

# 交流サロン開催報告



- 開催日時: 2023年12月9日(土) 14:00～15:00
- 会場: アーク栄サロンホール(名古屋市)

第10回目の交流サロン。昨年までの「女性交流サロン」の名称を「交流サロン」に変更しました。

チャペルのような素敵なホールに、28名の方が参加し、おしゃべりピアニストひらめさんのクリスマスコンサートを開催しました。クリスマスソングメドレーの生演奏にウキウキし、素敵な歌声に引き込まれ、楽しいトークに笑い、心が癒されたひと時でした。最後は全員で「糸」を歌い、会場が一つになって繋がりを、温かく優しい気持ちになれました。今後も同窓生が繋がり、一緒に楽しみながら元気になれる企画をしていきたいと思います。(文責:小原 博美)



## 「福祉現場とつくるリーダー育成プログラム」 『はじめてのリーダー』2024年度 さらに充実して開講します!

日本福祉大学大学院では、文部科学省 成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業「福祉現場とつくるリーダー育成プログラム～はじめてのリーダー～」を2023年度に開講いたしました。

本学提携社会福祉法人の皆さまと協働開発した組織マネジメントに関する実践情報も豊富なオンデマンド講座、多職種連携の促進を図るためのオンラインによるケースメソッド演習、部下の教育・指導に資する対面によるスーパービジョン演習などを通じて、チームマネジメントのスキルを身につけることを目的とした、“福祉現場にイノベーションを起こすリーダー育成のための”プログラムです。

2024年度は、体系的な個人向け研修に加え、テーマに応じて法人研修にも活用可能なパッケージも準備して皆さまの受講をお待ちしております。

### 【お問い合わせ先】

日本福祉大学名古屋事務室

電話: (052) 242-3050、E-mail: nfu-leaders@ml.n-fukushi.ac.jp



2023年度のスーパービジョン演習の様子(会場:名古屋キャンパス)

## 訃報 心よりご冥福をお祈り申し上げます。

- |         |                           |          |                          |
|---------|---------------------------|----------|--------------------------|
| 澤 淳世さん  | 1957年中部社会事業短期大/2023年1月ご逝去 | 河村 義公さん  | 1967年社会福祉学部/2018年12月ご逝去  |
| 乙部 憲司さん | 1963年社会福祉学部/2021年7月ご逝去    | 山形 良一さん  | 1970年社会福祉学部/2022年9月ご逝去   |
| 鈴木 雅子さん | 1965年女子短期大学部/2022年10月ご逝去  | 関根 佐知子さん | 1983年女子短期大学部/2022年10月ご逝去 |
| 岡本 忠之さん | 1965年社会福祉学部/2023年7月ご逝去    | 加崎 靖啓さん  | 1996年社会福祉学部/2023年5月ご逝去   |

(卒業年次順)

# 同窓会維持会費について

- ・払込取扱票は発送宛名を兼ねております都合上、会費納入記録の有無に関わらず皆さまにお送りしています。
  - ・同窓会カード(三菱UFJニコス・VISA)をお持ちの場合、払込取扱票での維持会費のお振り込みは不要です。10月のご利用分としてカード会社から引落としとなります。詳細はカードご利用明細をご確認ください。
- カード引き落とし対象:9月30日時点でカードご契約の方

- ★お納めいただいた最終年度は宛名の払込用紙の#に続けて印字されております。(例: #2022・・・2022年度分まで納入済) → 宛名印字完了から会報発送までの間にお振り込みいただいた場合は、最新のお振り込み状況が反映されていない場合があります。何卒ご了承ください。
- ◆本同窓会は、寄付金控除の対象となる団体ではありませんのでご了承ください。なお、税制上の優遇措置をご希望の場合は、日本福祉大学への寄付をお願いいたします。(詳細は、大学ホームページをご参照ください)
- ◆1年度分(¥1,000)から納入できます。(8月号は当年度分、3月号は翌年度分に充当します)
- ◆複数年度分(¥1,000×年数分)を納入される場合は、払込用紙に必ず納入したい年度をご記入ください。(過年度分の納入も可能です。会費制度が開始された1995年度以降でご指定ください)
- ◆ご記入いただいた年度の同窓会維持会費を既に納入済の場合は、翌年度(以降)分に充当します。(1年度分を二重で頂戴することはありません。納入いただきました会費の返金には対応しておりません)
- ◆インターネットバンキングからの納入も可能です。(振込手数料をご負担ください) お名前の前に同窓会員ID(宛名の下に記載)を必ず入力してください。また、通信欄へ入力可能な場合はご希望の納入年度をご入力ください。



①銀行名・支店名で振込  
(都市銀行・地方銀行・ゆうちょ銀行など)

銀行名	ゆうちょ銀行
支店名	〇八九(ゼロハチキュー)
種別	当座
口座番号	0065485
口座名義	日本福祉大学同窓会

②記号・番号で振込(ゆうちょ銀行のみ)

記号	00890
番号	65485

## 皆さまからご協力いただいた同窓会維持会費の主な支出内訳

同窓会事業…卒業生の交流・親睦、大学との連携	在学生支援…同窓会推薦入試学生生活支援金、
活動援助金…全国57地域同窓会、認定同窓会等	Uターン就職援助金、卒業記念品、卒業お祝い関連行事
会報出版・郵送…同窓会会報8月号、3月号	懸賞論文事業奨励金

同窓会維持会費についてご不明な点がございましたら、同窓会事務局までお問い合わせください。

## 安全・安心の1枚 日本福祉大学同窓会カード!

※三菱UFJニコスと提携

同窓会カードのメリット

- ゴールドカード年会費 永年無料!**  
同窓会維持会費(1,000円/年)をお支払いいただく<sup>(※)</sup>ことで、ゴールドカード年会費が無料になります。  
◆ゴールドカード会員特典:空港ラウンジの利用など  
※同窓会維持会費は毎年11月上旬に自動引き落としさせていただきます。
- ポイント利用いろいろ!**  
商品への交換、キャッシュバック、提携他サービスへのポイント移行ができます。

- 持っているだけで在学生支援!**  
同窓会カード利用額の一部は同窓会に還元され、在学生支援や同窓会活動の充実に役立ってます。
- 安心の各種保険サービス!**  
海外旅行保険・国内旅行傷害保険・ショッピング保険付帯  
・詳細はカード会社のHPにてご確認ください。
- ETCカード・家族カードも作成可能!**  
同窓会カードがお手元に届いてからお手続きください。

お申し込み方法

- 同窓会カード申込専用サイトよりお申し込みください。
- ・カードの審査・発行にはお時間を頂戴します。
  - ・受付はインターネットのみとなります。
  - ・郵送ではお申し込みいただけませんのでご了承ください。

同窓会カード 検索



## 同窓会カード入会キャンペーン

- ① 2024年4月1日から6月末までにお申し込みいただいた方全員に図書カード(1,000円分)プレゼント!
  - ② 9月末時点のカード会員の方の中から抽選で5名様にクオカード(10,000円分)プレゼント!
- ※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

「資格取得」や「福祉、心理、経営・マネジメント」  
を学び直すなら

# 日本福祉大学 通信教育部

## Well-being for All

融合し共鳴する学びで、福祉は、深く、強くなる。

2024年度

こころの理解を深め、職場や家庭での支援に活かす  
「認定心理士」カリキュラムスタート



社会福祉士国家試験 **15年連続** 合格者数全国大学 **第1位**の実績  
精神保健福祉士国家試験 **13年連続**

### 忙しい社会人に支持される 学習システム

※添削課題や科目修了試験は自宅のパソコンで実施します。  
一部のテキスト科目、スクーリング科目は、レポートによる  
試験を実施します。

授業も単位修得もインターネットで！  
レポート提出も不要です。



#### 取得できる資格(受験資格等を含む)

- 認定心理士
- 社会福祉士
- 精神保健福祉士
- 社会福祉主事
- 初級パラスポーツ指導員
- AFP/FP2級

#### 関心のある科目を1科目から学べる「科目等履修生」

- ▶短期で集中して、必要な力を身につけたい
- ▶大学卒業後も学びを継続したい
- ▶仕事や家庭を両立しながら学び続けたい

2024年度入学 出願期間 **出願受付中** ※日本福祉大学卒業生は、学費減免制度の対象です(選考料と入学金が無料)

[正科生]  
2023年12月1日～2024年3月31日(消印有効)

[科目等履修生・特修生]  
2023年12月1日～2024年8月31日(消印有効)

■短期大学、専門学校、高等専門学校を卒業した方は3年次編入学が可能。他にもキャリアに合わせた入学制度があります。■取得している資格や検定合格を卒業単位として認定する単位認定制度。■志望理由書による入学審査のため入学試験はありません。■経済的に無駄のない単位制学費。5・6年かけて卒業する場合でも、学費負担を抑えられます。  
●本学園同窓会員、および同窓会員の推薦を受けた方を対象とした学費等の減免制度を設けています。



日本福祉大学 通信教育部  
福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科

〒470-3295  
愛知県知多郡美浜町奥田  
日本福祉大学通信教育部事務室  
TEL:0569-87-2932  
日本福祉大学 通信 検索  
www.nfu.ne.jp

資料請求は  
こちらから▶



日本福祉大学同窓会会報 NO. 132

発行日：2024年3月15日

発行：日本福祉大学同窓会

<https://nfu-alumni.netnfu.ne.jp/>

〒460-0012 名古屋市中区千代田5丁目22番32号  
TEL (052) 242-3051 FAX (052) 242-3052

編集後記 ◆◆◆

巻頭企画・37同期会対談の収録が行われたのが昨年12月中旬。楽しかったエピソードに加えて、在学中に経験された伊勢湾台風の生々しい思い出もお聞きし、災害の恐ろしさも再認識させられました。それからわずか半月後に能登半島地震が発生し、胸が痛むばかりです。災害が無くなることはありませんが、被害を小さく抑えたり、復旧・復興を強める努力は可能です。同窓生の繋がりで、被災された同窓生と被災地への支援に取り組みしましょう。

◆今号をお読みにになった感想やご意見、情報提供等をアンケートフォームからお寄せいただけます。  
ご協力をお願いいたします。

アンケートフォームはこちらから▶

